

- (二五)疫神祓
- (二六)日待之祓
- (二七)月待之祓
- (二八)産生神祓
- (二九)潔齋祝詞
- (三〇)山神祓
- (三一)海神祓
- (三二)衝神祝詞
- (三三)屋堅祝
- (三四)雨乞祝詞
- (三五)鎮火祝詞
- (三六)祖廟靈神祓
- (三七)俗神拜次第
- (三八)遙拜祝詞
- (三九)降來要文
- (四〇)神供祝詞
- (四一)送納要文
- (四二)略神拜次第
- (四三)御食御酒之祝詞
- (四四)神酒祝詞
- (四五)神家故實
- (四六)神家忌詞
- (四七)天津祝詞
- (四八)九字傳授
- (四九)神言
- (五〇)家内規程

神拜 祝詞 神道太祓大全

權大教正 柄澤照覺校訂

先沓揖 (一) 神拜之次第

沓を正し立ながら一揖して沓をぬ  
 沓をさものは扇子を用ゆ

次着座

次坐揖

次拍手

次再拜

次祓

二ツ  
 笏を正し居ながら一揖して  
 笏を右のかたはらに持

二ツ  
 笏をたゞし立て再はいす  
 女は居ながらさいはいす

中臣祓三種祓 大祓等 攝掌して  
 之れを唱ふ或はこれを略す

次祈念

次拍手

次再拜

次座揖

次起座

祈ねんは心  
 にまかす

はじめのことし

笏をたゞし居ながら一揖

沓を着け笏を正し立ながら一揖

次沓揖

退 出

次祈念 祈ねんは心にまかす

次拍手 二ツ

次再拜 はじめのてとし

次座揖 笏をたゞし居ながら一揖

次起座 沓を着け笏を正し立ながら一揖

次沓揖 くつの沓

退出 たいしゆつ

(二) 身曾貴太祓

高天原仁神留座須皇親神漏岐神漏美乃命於

以天日向橘乃櫛原乃九柱乃神粟門及速

吸名門乃六柱乃神達諸乃汚穢乎祓賜清

賜倍止申壽事乃由乎左男鹿乃八乃耳乎振立天聞  
食止申寸

(三) 中臣祓 なかとみのはらひ 大祓詞なり

高天原仁神留座須皇親神漏岐神漏美乃命

於以天八百萬神等乎神集仁集賜比神議仁議

賜豆吾皇御孫尊乎波豐葦原乃水穗乃國平安國

登平介久所知食止事依之奉幾如此依之

奉志 ○國中仁荒振神達乎神問之仁問賜比神

掃仁掃賜比豆語問之磐根樹乃立草乃垣葉乎毛語

止豆天磐座放地天八重雲乎伊豆乃千別仁千別  
天降利依之奉幾如此依之奉志 ○四方  
乃國中仁大倭日高見乃國平安國登定奉豆下

高天原仁神留座須皇親神漏岐神漏美乃命  
於以天八百萬神等平神集仁集賜比神議仁議  
賜豆吾皇御孫尊乎波豐葦原乃水穗乃國平安國  
登平介久所知食止事依之奉幾如此依之  
奉志 ○國中仁荒振神達乎神問之仁問賜比神

掃仁掃賜比豆語問之磐根樹乃立草乃垣葉乎毛語  
止豆天磐座放地天八重雲乎伊豆乃千別仁千別  
天降利依之奉幾如此依之奉志 ○四方  
乃國中仁大倭日高見乃國平安國登定奉豆下  
津磐根仁宮柱太敷立高天原仁千木高知豆吾

皇御孫尊乃美頭乃御舍仁仕奉天乃御蔭  
日乃御蔭登隱座天安國登平介久所知食奉 ○國  
中仁成出牟天乃益人等加過於犯氣牟雜々乃罪  
事咎崇利天津罪登波畔乎放地溝於埋樋於放地敷  
詩串刺生剝逆剝許々太久乃罪乎天津罪登波法

止云咎波不在物於止祓賜比清賜登申事乃由於  
八百萬神等諸共仁左男鹿乃八乃耳乎振立天聞  
食止申壽  
天照皇太神乃宣久人波則天下乃神物奈利

(四) 六根清淨太祓

須掌靜謐心波則神明乃本主他  
利莫令傷心神是故仁目仁諸乃不淨乎見豆心  
仁諸乃不淨乎不見耳仁諸乃不淨於聞豆心仁  
諸乃不淨不聞鼻仁諸乃不淨乎嗅豆心仁諸

八百萬神等諸共仁左男鹿乃八乃耳乎振立天聞  
食止申壽

**(四) 六根清淨太祓**  
天照皇太神乃宣久人波則天下乃神物奈利

須掌靜謐心波則神明乃本主他  
利莫令傷心神是故仁目仁諸乃不淨乎見豆心  
仁諸乃不淨乎不見耳仁諸乃不淨於聞豆心仁  
諸乃不淨不聞鼻仁諸乃不淨乎嗅豆心仁諸  
乃不淨不嗅口仁諸乃不淨乎言豆心仁諸乃

不淨乎不言身仁諸乃不淨乎觸豆心仁諸乃不  
淨乎不觸意仁諸乃不淨乎思豆心仁諸乃不淨  
乎不想此時仁清潔與幾偈阿利諸乃法波影止  
像乃如之清久淨禮波假仁毛穢古止無之說乎取波  
不可得皆花與卑曾木實止者生留我身波則六根

清淨奈利六根清淨奈留我故仁五臟乃神君安  
寧奈利五臟乃神君安寧奈留我故仁天地乃神止同根  
奈利天地乃神止同根奈留我故仁萬物乃靈止同躰奈利  
萬物乃靈止同躰奈留我故仁爲所無願而不成  
就矣无上靈寶神道加持

**(五) 三種太祓**  
吐普加身依身多女寒言神尊利根陀見波羅伊  
玉意喜餘目出玉

**(六) 一切成就祓**  
極豆汚毛滯無禮波穢者有羅之內外乃玉垣清

寧奈利五臟乃神君安寧奈留我故仁天地乃神止同根  
奈利天地乃神止同根奈留我故仁萬物乃靈止同躰奈利  
萬物乃靈止同躰奈留我故仁爲所無願而不成  
就矣无上靈寶神道加持

(五) 三種太祓

吐普加身依身多女寒言神尊利根陀見波羅伊  
玉意喜餘目出玉

(六) 一切成就祓

極豆汚毛滯無禮波穢者有羅之內外乃玉垣清

別天○國津罪止波生乃膚斷死乃膚斷白人胡久  
美己加母乎犯世留罪己加子乎犯世留罪母登子登  
犯世留罪子登母登犯世留罪畜於犯世留罪昆虫乃  
災高津神乃災高津鳥乃災畜仆死靈物世  
留罪許々太久罪乎出天牟如此出天波天津宮

事乎以天津金木乎本打斷未打斷豆千座仁置  
足波之豆天津菅曾乎本打斷未打斷切豆八針仁取辟  
天津祝詞乃太祝詞乃事於宣禮如此宣羅波○天  
津神者天磐戶於押開幾天八重雲乎伊豆乃千別仁  
千別天所聞食牟國津神波高山乃末短山乃末仁

登利座豆高山乃伊惠理端山乃伊惠理於撥分  
豆所聞食牟如此所聞食天波罪止云罪咎止云咎波  
不在止科戶乃風乃天乃八重雲於吹放津事乃如久  
朝乃御霧夕乃御霧於朝風夕風乃吹掃事乃如  
久大津乃邊仁居留大船乃舳綱解放地艦綱解放豆

おほうなばらに おしはなつ ことのごとく おちかたやしげき がもとをやきがま

足波之豆天津菅曾乎本茹斷末茹切豆八針仁取辟  
てあまつのりとのふとのりとのことをのれかくのらは  
天津祝詞乃太祝詞乃事於宣禮如此宣羅波○天  
津神者天磐戸於押開幾天八重雲乎伊豆乃千別仁  
ちわきてきこしめさんくにつかみはたかやまのすゑみじかやまのすゑに  
千別天所聞食牟國津神波高山乃末短山乃末仁

登利座豆高山乃伊惠理端山乃伊惠理於撥分  
てきこしめさんかくきこしめしてはつみといふつみとがといふとがは  
豆所聞食牟如此所聞食天波罪止云罪咎止云咎波  
不在止科戸乃風乃天乃八重雲於吹放津事乃如久  
あしたのみきりゆうへのみきりをあさかせゆふかせのふきはらふことごと  
朝乃御霧夕乃御霧於朝風夕風乃吹掃事乃如  
くおほつべにわたるおほふねのともづなとききはなちろづなときはなて  
久大津乃邊仁居留大船乃舳綱解放地艦綱解放豆

大海原仁押放津事乃如久彼方屋繁木加本乎燒鎌  
おほうなばらにおしはなつことのごとくおちかたやしげきがもとをやきがま  
乃敏鎌於以豆打掃事乃如久遺禮留罪波不在止祓  
たまひきよめたまふをたかやまのすゑみじかやまのすゑよりさくらたに  
賜比清賜事於高山乃末端山乃末與利佐久良谷  
におちたきつはやかはのせにましますせおりのひめといふかみおほ  
仁落瀧津速川乃瀨仁座須瀨織津比咩登云神大  
うなばらにもちいだしなんかくもちいだしなばあらしはのやをぢの  
海原仁持出奈牟如此持出那波荒鹽乃八百道乃

八百道乃鹽乃八百會仁座須速開都比咩登云神  
やほぢのしほのやほあひにましますはやあきつひめといふかみ  
持可々牟吞天牟如此可々牟吞天波氣吹戸仁座須  
いふきとぬしといふかみいふきはなちてん○如此氣吹放豆  
氣吹戸主止云神氣吹放豆牟○如此氣吹放豆  
はねのくにそこのくににましますはやさすらひめといふかみもちさ  
波根國底國仁座須速佐須良比咩止云神持佐  
すらひめうしなひてんかくうしなひてはのこれるつみといふつみとが  
須良比咩失豆牟○如此失豆波遺禮留罪止云罪咎

淨止申寸

(七) 十種神寶

瀛都鏡邊都鏡八振劍生玉死反玉足玉道  
おきつかみへつかみやつかのつるぎいくたまかるがへしのたまよるたまちが  
反玉蛇比禮蜂比禮品々比禮  
へしのたまおろぢのひれはちのひれくさぐさのひれ

(八) 最上祓

たかまのはらあまつのりとのふとのりともちかかん  
のんでんはらひ

氣吹戸主止云神氣吹放豆牟 ○如此氣吹放豆  
波根國底國仁座須速佐須良比咩止云神持佐  
須良比咩失豆牟 ○如此失豆波遺禮留罪止云罪咎  
淨止申寸さよしとまうす

(七) 十種神寶

瀛都鏡邊都鏡八振劍生玉死反玉足玉道  
反玉蛇比禮蜂比禮品々比禮

(八) 最上祓

高天原天津祝詞乃太祝詞持可々牟吞天牟祓

賜比清賜

(九) 最要祓

高天原仁神留座須皇親神漏岐神漏美乃命於  
以天津祝詞乃事於宣禮如此宣羅波罪止云罪咎

止云咎波不在物於止祓賜比清賜登申事乃由於

諸神等左男鹿乃八乃耳乎振立天間食登申壽

(十) 大道神祇

謹請再拜再拜掛間毛畏喜大日本豐葦原水  
穗乃國六十余州爾跡乎垂鎮里坐須大小乃神祇

神世爾五代乃尊神天孫降臨供奉三十二神式

内式外案上案下三千一百三十二神殊爾波宮

中爾奉祭鎮靈八神乃始守護鎮利座須靈神洛

中洛外山上下伊勢内外兩宮攝社末社別天  
波當國氏乃神當所產神乃冥道靈場於奉動

請招志祓申清申乃形狀波精進乃誠乎

(十) 大道神祇

謹請再拜再拜掛間ク毛畏喜大日本豊葦原水  
穗乃國六十余州爾跡乎垂鎮里坐須大小乃神祇

神世爾五代乃尊神天孫降臨供奉三十二神式  
内式外案上案下三千一百三十二神殊爾波宮  
中爾奉祭鎮靈八神乃始守護鎮利座須靈神洛  
中浴外山上山下伊勢内外兩宮攝社末社別天  
波當國氏乃神當所產神乃冥道靈場於奉動

請招志祓申清申乃形状波精進乃誠乎  
致止雖毛緣爾觸不慮乃穢氣不淨行觸來觸目  
借口借愚意爾志天犯須良武所乃不信懈怠不淨  
等乃咎崇有天唯今祈禱奉留所乃妨止成可良  
武於波祓申奉清靈現爾依大諸乃不善不吉

罪事於波他方萬里乃外江荒鹽乃鹽乃八百道乃大  
海原爾祓比退介此座江請招志奉留八百萬乃  
諸乃神等天乃盤戶於押開伎天乃八重雲乎伊豆  
乃千別爾千別天高山乃末短山乃末爾登座天高山  
乃伊惠理短山乃伊惠理於撥別天所聞食止稱辭

竟奉留辭別爾申佐久古江八洲開闢乃始國土  
乃浮禮漂布事譬波猶水乃上爾浮女留油乃如干時  
天地乃中爾一乃物生禮利則神止成留國常立尊  
止申奉次爾國狹植尊次爾豊斟淳尊次爾泥  
煮尊泥土煮次爾大戸道大筈邊尊次爾面足尊

惶根尊次爾伊莽諾尊伊莽册尊是於神代乃七



もろくのかみたちあまのいはををしひらきあまのやえくもをいづ  
諸乃神等天乃盤戸於押開伎天乃八重雲乎伊豆  
のちわきにちわきてたかやまのすゑみじかやまのするにのぼりましてたかやま  
乃千別爾千別天高山乃末短山乃末爾登座天高山  
乃伊惠理短山乃伊惠理於撥別天所聞食止稱辭

たてまつることわけにまうさくいにしへおほやしまあめつちひらくのはじめくにつち  
竟奉留辭別爾申佐久古江八洲開闢乃始國土  
乃浮禮漂布事譬波猶水乃上爾浮女留油乃如干時  
あめつちのなかにひとつものなれりすなはちかみとなるくにとこたちのみと  
天地乃中爾一乃物生禮利則神止成留國常立尊  
とまうしたてまつるつぎにくにさつちのみとつぎにとよくんぬのみとつぎにうひ  
止申奉次爾國狹槌尊次爾豊斟淳尊次爾泥  
ちにのみとすひちにつぎに おほこのち おほとまへのみとつぎにおもたるのみと  
煮尊泥土煮次爾 大戸道大筈邊尊次爾面足尊

かしこねのみとつぎにい さなきのみとい さなみのみとこれをかみよのな  
惶根尊次爾伊弉諾尊伊弉册尊是於神代乃七  
よとまうしたてまつるつぎにかみすあまてらすすめおほかみつぎにまさやあ  
代止申奉留次爾神在天照皇大神次爾正哉吾  
かつくのはやひあまのおしほにのみとつぎにあまつ ひこほのにに きのみと  
勝々速日天忍穗耳尊次爾天津彦火瓊々杵尊  
つぎにひこほ、でみのみとつぎにひこなきさうか やふさわはせずの  
次爾彦火々出見尊次爾彦波瀲鷓鴣艸葺不合  
みとつぎに かんやまといはあれのみとこれよりやほよろづのおほんがみあらはれ  
尊次爾神日本磐余尊從是八百萬乃太神現

ましますかるがゆゑにくにをしんこくといふみちをしんたうといふあまてらすすめ  
在須 故國乎神國止云道乎神道止云布天照皇  
おほんがみおとのかみつきよのみとひるこのみとそさのをのみととまうしたてまつる  
大神次第乃神月讀尊蛭子尊素戔嗚尊止申奉  
そのほかいつつらのおほんがみいつしづゆのかみや ほよろづのかみなかにも  
其外五行御神五鎮神八百萬乃神中爾毛  
つかさどりてまもりたまふかみのみひかりあめにましますよひのみやうじやうは  
主宰天守給布神御光天爾座須宵乃明星波  
いはさくのかみやなかのみやうじやうはふつぬしのかみむかつぎのみやうじやうは  
磐裂神夜中乃明星波 經津主神 曉乃明星波

ね さくのかみあめのかみいかづちのかみせいてんじうにときにいさまします  
根裂神雨乃神雷乃神晴天十一時爾光座須  
かみなりあめつちにあらゆるおほんたからをうるほしたまふ おほんがみさのかみは  
神奈利天地爾所在萬民乎濕玉布御神木乃神波  
くぐのちのみとひのかみはかぐつちのみとつちのかみははにやま  
句々廻馳命火乃神波 軻遇突智命土乃神波 埴山  
ひめのみとかねのかみはかなやまひこのみとみづのかみはみづはやめのみとくさ  
姫命金乃神波金山彦命水乃神波 水速女命草  
のかみはかやのひめのみとまたはのつちのみとおほうなばらをつかさどりたまふは  
乃神波 金野姫命又波野槌尊大海原於主宰給波

せをりつひめはやあきつひめのかみこくのかみは うけもちのかみうかの  
瀬織津姫速秋津比咩神五穀神波 保食神稻蒼

大神次第乃神月讀尊蛭子尊素戔鳴尊止申奉  
其外五行御神五鎮神八百萬乃神中爾毛  
つかさどりてまもりたまふかみのみひかりあめにましますよひのみやうじやうは  
主 宰天守給布神御光天爾座須宵乃明星波  
いはさくのかみよなかのみやうじやうはふつぬしのかみむかつきのみやうじやうは  
磐裂神夜中乃明星波 經津主神 曉乃明星波

根裂神雨乃神雷乃神晴天十二時爾光座須  
かみなりあめつちにあらゆるおほんたからをうるほしたまふおほんがみさのかみは  
神奈利天地爾所在萬民乎濕玉布御神木乃神波  
くぐのちのみとひのかみはかぐつちのみとつちのかみははにやま  
句々廻馳命火乃神波 軻遇突智命土乃神波 埴山  
ひめのみとかねのかみはかなやまひこのみとみづのかみはみづはやめのみとくさ  
姫命金乃神波金山彦命水乃神波 水速女命草  
のかみはかやうひめのみとまたはのつちのみとおほうなばらをつかさどりたまふは  
乃神波 金野姫命又波野槌尊大海原於主宰給波

瀬織津姫速秋津比咩神五穀神波 保食神稻蒼  
魂命衣服乎織始給布波 拷幡千々姫命家乎作  
はじめたまふはた おさほおひのみとひこさちのみとかせのかみはしなかに  
始給布波手置帆負命彦狹智命風乃神波級長戸  
べのみとしながつひこのみとやまのかみはおほやまづみのみとゆきさをまもり  
邊命級長津彦命山乃神波 大山祇命往來於守  
たまふはくなどのかみふねをまもりたまふはふなだまのかみじゆふくをまもりたま  
給布波岐乃神船於守玉布波舟玉乃神壽福於守給

布波太田神門於守玉布波 豐磐間戸命櫛磐間戸  
みとつみたよりをばらひ たまふは かなはひのかみおほなはひのかみやまひを  
命罪崇乎祈祓給布波 神直日神大直日神病乎  
いやしたまふはおほあなむちのみとすくなひこなりみとふゆうをまもりたまふは  
療志給布波大已貴命少彦名命武勇乎守命布波  
ふつぬしのみとたけみかつちのみとち ちをまもりたまふはおもひかねのみと  
經津主命武甕槌命智惠乎守給布波 思兼命  
うつはものをつくりはじめたまふは いしこりどめのみとかくのごとくもろくの  
器物乎作始給布波 石凝姥命如此 諸乃

神等萬物乎主宰玉比豆蒼人民乎養育志給布止  
おそれみ おそれみ まうすかみよりのこれるならひ たへにしてふるさのぎ  
恐美恐美申須神代遺禮留風儀妙爾志豆舊乃義  
理乎云者也凡一國爾總社止志豆 主宰守玉布  
おほんがみさうちうのかみさんじうろくさ きやうちうのかみさんざ  
大神宮中乃神三十六座京中乃神三座

(一一) 稻荷大明神祓

高天原爾神留座須皇親神扇伎神扇卅乃命乎

療志給布波大已貴命少彦名命武勇乎守命布波  
經津主命武甕槌命智惠乎守給布波思兼命  
器物乎作始給布波石凝姥命如此諸乃

かみたちよろづのものをつかさどりたまひてあをひこたみをよういくしたまふと  
神等萬物乎主宰玉比豆蒼人民乎養育志給布止  
恐美恐美申須神代遺禮留風儀妙爾志豆舊乃義  
理乎云者也凡一國爾總社止志豆主宰守玉布  
大神宮中乃神三十六座京中乃神三座

(一一) 稻荷大明神祓

高天原爾神留座須皇親神漏岐神漏册乃命乎  
以豐葦原乃瑞穗乃國五穀乃種津物乃神靈飯成  
五社大明神邊鎮座須稻蒼魂命大已貴命太  
田命大宮姬命保食命五柱乃大恩神天與利  
五穀乃元祖止之豆普久種乎降之千代萬代末豆秋乃

垂穗八握爾莫々上者帝乎奉始顯主蒼生  
平養之心乃儘爾潔久生乃子乃八十續末豆生成賜  
布止祓申奉敬禮婆立春乃秋風通氣自在乃  
德波明安正家乃住爾能風秋乃神道爾奉出  
光皆稻里五社大明神乃德奈利止恐美恐美申

世婆十穀乃種津物五穀成就不致止云事奈之祈  
處願處守幸給比無上靈寶神道加持

(一二) 大日本國々一ノ宮

山城國愛宕郡別電命加茂大明神  
大和國城上郡大已貴命三輪大明神

河内國河内郡天兒屋根命牧岡大明神

光皆稻里五社大明神乃德奈利止恐美恐美申

世婆十穀乃種津物五穀成就不致止云事奈之祈

處願處守幸給比無上靈寶神道加持

(一三) 大日本國々一ノ宮

山城國愛宕郡別電命加茂大明神

大和國城上郡大己貴命三輪大明神

河內國河內郡天兒屋根命牧岡大明神

和泉國大鳥郡日本武命大鳥大明神

攝津國住吉郡中筒男命住吉大明神

伊賀國阿部郡金山彦命敢國大明神

伊勢國河曲郡猿田彦命都波岐大明神

志摩國答志郡玉柱屋命伊射波大明神

尾張國中島郡大物主命眞清田之神社

三河國寶飯郡八千戈命砥鹿大明神

遠江國佐野郡大己貴命事麻智大明神

駿河國富士郡木花開耶姬命淺間之神社

甲斐國八代郡葦津姬命淺間大明神

伊豆國加茂郡大山祇命三島大明神

相模國高倉郡應神天皇寒川大明神

武藏國足立郡素盞鳴命氷川大明神

安房國安房郡天太玉命安房大明神

上總國埴生郡前玉命玉前大明神

下總國香取郡經津主命香取大明神

常陸國鹿島郡武甕槌命鹿島大明神

駿河國富士郡 木花開耶姬命 淺間之神社

甲斐國八代郡 葦津姫命 淺間大明神

伊豆國加茂郡 大山祇命 三島大明神

相模國高倉郡 應神天皇 寒川大明神

武藏國足立郡 素盞鳴命 氷川大明神

安房國安房郡 天太玉命 安房大明神

上總國埴生郡 前玉命 玉前大明神

下總國香取郡 經津主命 香取大明神

常陸國鹿島郡 武甕槌命 鹿島大明神

近江國栗本郡 稚武主命 建部大明神

美濃國不破郡 金山彦命 南宮之神社

飛驒國大野郡 高照光姫命 水無之神社

信濃國諏訪郡 建御名方命 諏訪大明神

上野國甘樂郡 經津主命 貫前大明神

下野國河内郡 豐城入彦命 二荒山之神社

磐城國白河郡 味耜高彥根命 都々古和氣神社

羽後國飽海郡 稻蒼魂命 大物忌神社

若狹國遠敷郡 彦火々出見命 遠敷大明神

越前國敦賀郡 仲哀天皇 氣比大明神

越中國礪波郡 大國主命 高瀨神社

越後國蒲原郡 天香護山命 伊夜彦大明神

佐渡國羽茂郡 五十猛命 渡津大明神

加賀國石川郡 伊弉册命 白山姫神社

能登國羽咋郡 大己貴命 氣多神社

丹波國桑日郡 三輪尊彥命 山部大日命

羽後國 飽海郡 稻蒼魂命 大物忌神社  
若狹國 遠敷郡 彦火々出見命 遠敷大明神  
越前國 敦賀郡 仲哀天皇 氣比大明神  
越中國 礪波郡 大國主命 高瀨神社  
越後國 蒲原郡 天香護山命 伊夜彦大明神

佐渡國 羽茂郡 五十猛命 渡津大明神  
加賀國 石川郡 伊弉册命 白山姫神社  
能登國 羽咋郡 大己貴命 氣多神社  
丹波國 桑田郡 三穗津姬命 出雲大明神  
丹後國 與謝郡 底筒男命 籠守大明神

但馬國 朝來郡 彦火々出見命 粟鹿神社  
因幡國 法美郡 武内宿禰 宇部大明神  
伯耆國 河村郡 下照姬命 倭文大明神  
出雲國 出雲郡 素盞鳴命 杵築大明神  
石見國 安濃郡 宇麻志麻治命 物部神社

隱岐國 知夫郡 須勢理姬命 由良姫神社  
播磨國 穴栗郡 大物主命 伊和大明神  
美作國 苦東郡 顯國玉命 中山大明神  
備前國 赤坂郡 石上布都魂神社  
備中國 加屋郡 吉備武彦命 吉備大明神

備後國 品治郡 吉備武彦命 吉備大明神

安藝國 佐伯郡 市杵島姬命 嚴島大明神

周防國 佐渡郡 玉屋命 玉祖大明神

長門國 豐浦郡 表筒男命 住男大明神

肥前國 名草郡 名草郡

石見國安濃郡宇麻志麻治命物部神社

隱岐國知夫郡須勢理姬命由良姬神社

播磨國穴栗郡大物主命伊和大明神

美作國苦東郡顯國王命中山大明神

備前國赤坂郡石上布都魂神社

備中國加屋郡吉備武彦命吉備大明神

備後國品治郡吉備武彦命吉備大明神

安藝國佐伯郡市杵島姬命嚴島大明神

周防國佐渡郡玉屋命玉祖大明神

長門國豐浦郡表筒男命住男大明神

紀伊國名草郡石凝姥命日前大明神

淡路國津名郡伊弉諾命御神社

阿波國板野郡猿田彦命大麻彦神社

讚岐國香川郡興玉命田村大明神

伊豫國越智郡大山祇命三島大明神

土佐國土佐郡味耜託彥根命高加茂大明神

筑前國粕屋郡應神天皇箱崎神社

筑後國三井郡武内宿禰高良玉垂大明神

豐前國宇佐郡應神天皇宇佐八幡大神

豐後國大野郡西寒田神社杵原大明神

肥前國佐喜郡淀姫之命河上大明神

肥後國阿蘇郡阿蘇比咩命阿蘇大明神

日向國兒湯郡醜男命都農神社

大隅國桑原郡正八幡太神鹿兒島神社

薩摩國穎娃郡鹽土老翁命牧聞大明神

筑前國 粕屋郡 應神天皇 箱崎神社  
 筑後國 三井郡 武内宿禰 高良玉垂大明神  
 豐前國 宇佐郡 應神天皇 宇佐八幡大神  
 豐後國 大野郡 西寒田神社 杵原大明神  
 肥前國 佐喜郡 淀姫之命 河上大明神

肥後國 阿蘇郡 阿蘇比咩命 阿蘇大明神  
 日向國 兒湯郡 醜男命 都農神社  
 大隅國 桑原郡 正八幡太神 鹿兒島神社  
 薩摩國 穎娃郡 鹽土老翁命 牧聞大明神  
 壹岐國 石田郡 櫛明玉命 天手長男神社

對馬國 上縣郡 豐玉彦命 和多都美神社  
 惣而大日本六十余州鎮座乃 神靈都合三千一  
 百三十二神中仁毛 一國仁 總社主宰座須 神靈  
 六十余州 爾尊於顯志 奉天 此處江勸請志  
 奉留當爾 降臨有天神慮於祈所願所波祈願

圓滿感應成就 守幸 給日止 恐美々々 申壽

(二三) 十種太祓 布留倍之祓トモ云  
 高天原爾神留座須 皇神等鑄顯給布十種瑞津  
 乃寶乎以旦天照國照彥天火明櫛玉饒速日尊爾  
 授給事誨且 曰汝此瑞津寶乎以中津國爾

天降利蒼生乎 鎮納與蒼生及萬物乃病疾辭  
 阿羅婆神寶乎以御倉板爾鎮置且魂魄鎮祭乎  
 為豆瑞津寶乎布留部其乃神祝乃詞爾曰甲乙丙  
 丁戊巳庚辛壬癸 一二三四五六



えんまんかんおうじやうじゆまもりさいはひたまひとおそれみおそれみもまうす  
圓満感應成就守幸給日止恐美々々申壽

(二三) 十種太祓 布留倍之祓トモ云

たかまがはらにかみとまります すめかたちのあらはしたまふとくさみつ  
高天原爾神留座須皇神等鑄顯給布十種瑞津  
のたからをもつてあまてるくにてるひこあまほのあかるくしたまにぎはやひのみとに  
乃寶乎以天照國照彦天火明櫛玉饒速日尊爾  
さづけたまふとおしへてのたまはくいましこのみ つのたからをもつてなかつくにに  
授給事誨曰汝此瑞津寶乎以中津國爾

あまくたりあをひとををしづめおさめよあをひとをさおよぶるものやまひのと  
天降利蒼生乎鎮納與蒼生及萬物乃病疾辭

あらばかんだからをもつてみくらいたにしづめおきてみたましづまつりを  
阿羅婆神寶乎以御倉板爾鎮置魂魄鎮祭乎  
なしてみつのたからをふるべ そのかんほぎのとばにいはいはくきのへきのといのへ  
為瑞津寶乎布留部其乃神祝乃詞爾曰甲乙丙  
ひのとつちのへつちのとかのへかのとみづのへみづのと ひふみよいひ  
丁 戊 巳 庚 辛 壬 癸 一 二 三 四 五 六  
なやことにおとふるべ ゆらゆらかくいのりてせば  
七八九十瓊音布留部由良由良如此祈所為婆

まかるともさらにい きなんとをしへたまふ あまのかみのみおやみとのりをかけ  
死共更爾蘇生奈牟止誨給布天神御祖御詔乎稟

たまひてあめのいはふねのりてかはちのくにかはかみのいかるがみねにあまくたり  
給天磐船爾乘利河内國河上乃哮峰爾天降  
ましとてやまとのくにきみのやまのふもとしらにはのたかにはに うつしまし  
座大和國排尾乃山乃麓白庭乃高庭爾遷座  
ていつきたてまつりたまふなづけていそのかみおはんがみとまうしたてまつりよ  
是鎮齋奉利給號石神大神止申奉利代々  
かんだからをもつてよろづもののためふるべ のかんとをもつてつかさとなし  
神寶乎以萬物乃為爾布留部乃神辭乎以司止為

たまふゆゑにふるみたまのかみとをんけいしたてまつりすめみとおほむらじお  
給布故布留御魂神止尊敬奉皇子大連大

といそのかんたけきをもつていつきにつかへたてまつりたまふものべのかんやしろ  
臣其神武乎以齋爾仕奉給布物部乃神社  
あめがしたよろづものいたぐひなりいでんおほもとのかんだからはいはゆるおきつ  
天下萬物聚類化出大元乃神寶者所謂瀛都  
かいみへつ かいみやつかのつるぎいくたままかるがへのたまたるたまみちへのし  
鏡邊都鏡八握劔生玉死反玉足玉道反  
たまおろぢのひれはちのひれくさくものひれさらのとくさのがみきのへきのと  
玉蛇比禮蜂比禮品品物比禮更十種神甲乙

ひのへひのとつちのへつちのどかのへかのとみづのへみづのとひふみよい  
丙 丁 戊 己 庚 辛 壬 癸 一 二 三 四 五

ひなやことにおとふるべ ゆらゆらかしたてまつる  
六七八九十瓊音布留部由良止由良加之奉留  
ことよしをもつてたいらけくきこしめせと いのちなかくしそんはん  
事乃由縁乎以平介久所聞食止命長遠子孫繁  
えいとときはかきはにまもりたまひさいはひしたまひかじたてまつるじんづら  
榮止常磐堅盤爾護給比幸給比加持奉神通  
じんめうしんりさかぢ

神妙神力損

神寶乎以豆萬物乃爲爾布留部乃神辭乎以司止爲

たまふゆゑにふるみたまのかみとそんけいしたてまつりすめみとおほむらじお  
給布故布留御魂神止尊敬奉皇子大連大  
とよそのかんたけきをもつていつきにつかへたてまつりたまふものいへのかんやしろ  
臣其神武乎以豆齋爾仕奉給布物部乃神社  
あめがしたよろづものいたぐひなりいでんおほもとのかんたからはいゆるおきつ  
天下萬物聚類化出大元乃神寶者所謂瀛都  
かみへつかいみやつかのつるぎいくたままかるがへしたまたるたまみちがへしの  
鏡邊都鏡八握劔生玉死反玉足玉道反  
たまおろぢのひれはちのひれくさくものひれさらのとくさのがみさのへきのと  
玉蛇比禮蜂比禮品品物比禮更十種神甲乙

ひのへひのとつちのへつちのどかのへかのとみづのへみづのとひふみよい  
丙丁戊己庚辛壬癸一二三四五  
ひなやことにおとふるべゆらとゆらかしたてまつる  
六七八九十瓊音布留部由良止由良加之奉留  
ことによしをもつてたいらけくきこしめせとのちながくしそんはん  
事乃由縁乎以豆平介久所聞食止命長遠子孫繁  
えいとときはかきはにまもりたまひさいはひしたまひかじたてまつるじんづう  
榮止常磐堅盤爾護給比幸志給比加持奉神通  
じんめうしんりさかぢ  
神妙神力楫

(一四) 釜所神祝詞

たかまがはらにかみとまりましますすめむつかみろきかみろみのみとを  
高天原爾留座須皇親神漏岐神漏美乃命乎  
もつてをさつひこのみとをさつひめのみととおんなをもうしたへをへたてまつり  
以豆澳津彦命澳津姬命止御名乎申須稱辭奉  
くになかのおほんたからのかまをさきはかきはにやすらけくあさけふうけに  
國中乃萬民乃寵常磐堅磐爾安介久朝氣夕氣爾  
にさはしくやそつひのすゑにいたるまでかはらすまもりさいはひたまひて  
豊饒久八十連續乃末爾至末豆不易守幸給比豆

たとひあまのますひとらがあやまりをおかしけんくさくのつみこととが  
假令比天益人等我過乎犯氣牟雜々乃罪事咎  
たりをもしなとのかせのあめのやえくもをふきはらふとのごとくのこ  
崇利乎毛科戸乃風乃天八重雲乎吹掃事乃如久遺  
れるつみはあらじとなだめゆるしはらひたまひきよめたまへとまうすとのよし  
禮留罪波不在止宥恕祓比給比清米給幣止申事乃由  
をさをしかのやつのおんみいをふりたててきこしめせとまうす  
乎左男鹿乃八耳乎振立豆所聞食止申壽

(一五) 井戸神祓

たかまがはらにかみとまりましますすめむつかみろきかみろみのみとを  
高天原爾留座須皇親神漏岐神漏美乃命乎  
もつてみつはめのかみをおきたてまつりてうつのみてくらをむまりにどり  
以豆岡象女神乎奉請豆宇津乃幣帛乎井輪爾取  
さいていのりたまひみほぎまうすをさこしめしてはまにみづみたしとなり  
刺豆祈給比禱申須事乎所聞食豆波允爾沸泉止成  
たらしてんやはよろづのかみたちももにたいらけくやすらけにさこしめせと  
足豆牟八百萬神等者共爾平介久安介爾所聞食止

たといあまのますひとら があやまりをおかしけんくさくの つみこととが  
假令比天益人等我過乎犯氣牟雜々乃罪事咎  
たよりをもしなとの かせのあめのや えくもを ふきはらふとの ことくのこ  
崇利乎毛科戸乃風乃天八重雲乎吹掃事乃如久遺  
れるつみはわらじとなだめゆるしはらひたまひきよめたまへと申すとの よし  
禮留罪波不在止宥恕祓比給比清米給幣止申事乃由  
をさ を しかのやつのおんみいをふりたててきこしめせと申す  
乎左男鹿乃八耳乎振立豆所聞食止申壽  
ぬ どのかみのほらひ

(一五) 井戸神祓

たかまがはらにかみとまりまします すめむつかみろる ぎかみろる みのみとを  
高天原爾神留座須皇親神漏岐神漏美乃命乎  
もつてみつはめのかみを おきたてまつりてう つのみてくらをぬ まりにどり  
以豆岡象女神乎奉請 豆宇津乃幣帛乎井輪爾取  
さいていのりたまひ みほぎまうすとをきこしめしてはまとにみづみたしとなり  
刺豆祈給比禱申須事乎所聞食豆波允爾沸泉止成  
たらしめんやほよろづのかみたちもろどもにたいらげやすらげにきこしめせと  
足豆牟 八百萬神等諸共爾平介久安介爾所聞食止  
おそれみつしきもうす  
恐美謹美申壽

(一六) 大國神甲子祝文

くにつぬしおほあなむちのかみそれきのへね とはきのさかへるねを  
地津主大己貴神夫甲子止波氣乃榮留根乎  
いふねまちはあまねくちをまつるとぞちはすなはちつまなればこれをまつる  
云根待者普久地乎祭事會地波則妻奈禮波是乎祭留  
をねま ちといふしかりこゝろよくしそんをさづけおひてたいこくじんのとく  
乎寢交血止云然利心善子孫乎授老豆大國神乃德  
にかなふつしきみ おそれみ 申すすいにしへこのくにあらびたるの  
爾叶布謹美謹美惶美惶美申須古幣 此國荒芒乃

よいはねこの たちくさのかたはもよくあしかるの ときあめがしたをつくり  
世磐根木乃立草乃片葉毛能強暴乃時天下乎經  
おさめたまふは くにくりおほあなむちのかみと申す たけくつよきいきはひ  
修治給波國作大己貴神止申須武久強岐勢比  
ましませばあしはらのしを とまつしあまの ひろほこをふりたててあしきものを  
在 婆 葦原乃醜男止申之天乃廣戈乎振 豆 邪鬼乎  
はらひむけとひしこくさの たぐひをくたさふせたまへばや ちほこの かみと  
撥平語問之木草乃類乎摧伏給婆八千戈乃神止  
申すしものまつるはぬかみたちをまつるいかにをもちたまへば おほくに  
申之 諸乃不和順神等乎和順國乎持給幣婆 大國

ぬしのかみと申す このかみのすませたまへる みやは ちひろのたいなはを  
主神止申須此神乃住世給幣留宮婆千尋乃拷繩乎  
もつてゆひてもあまや そむすび はしらはたかくんとくいたはひろく  
以豆結豆百餘八十結比木柱波高久太久板波廣久  
あつくたかはしうきはしうちはしとりふねもあまや そぬひのしらだてあり  
厚久高橋浮橋打橋鳥船百餘利八十縫乃白楯有  
またまつりのつかさもろくのつかさにしてそなふればおほものぬしのかみと  
又祭祝乃主佐諸乃司爾而備禮婆大物主神止

よいはねこのたちくさのかたはよくあしかるのときあめがしたをつくり  
世磐根本乃立草乃片葉毛能強暴乃時天下平經  
おさめたまふはくにくりおほあなむちのかみとまうす たけくつよきいさほひ  
修治給波國作大己貴神止申須武久強岐勢比  
ましませばあしはらのしごをとまうしあまのひろほこをふりたててあしきものを  
在婆葦原乃醜男止申之天乃廣戈乎振豆邪鬼乎  
はらひむけととひしこくさのたぐひをくだきふせたまへばやちほこのかみと  
撥平語問之木草乃類乎摧伏給婆八千戈乃神止  
まうしものまつろはぬかみたちをまつろいくにをもちたまへばおほくに  
申之諸乃不和順神等乎和順國乎持給幣婆大國

ぬしのかみとまうすこのかみのすませたまへるみやはちひろのたいなほと  
主神止申須此神乃住世給幣留宮婆千尋乃拷繩乎  
もつてゆひてもあまりやそひすひはしらはたかくふとくいたはひろく  
以豆結豆百餘八十結比木柱波高久太久板波廣久  
あつくたかはしうきはしうちはしとりふねもあまりやそぬひのしらだてあり  
厚久高橋浮橋打橋鳥船百餘利八十縫乃白楯有  
またまつりのつかさもろくのつかさにしてそなふればおほものぬしのかみと  
又祭祀乃主佐諸乃司爾而備禮婆大物主神止  
まうすあやしきひかりうなばらにてらしさちたましくしみたまをもろやまにしつ  
申須神光海原爾照之幸魂奇魂乎三諸山爾鎮

めたまへばおほくにたまのかみとまうしよをおさひるあらはのとをすめみまごの  
米給幣婆大國玉乃神止申之治世顯露乃事乎皇孫  
みとによさしたてまつりかんとをおさめたまふおんみにみつのやさかにを  
尊爾依之奉利神事乎治米給布御身爾瑞乃八坂瓊乎  
おさしづかにながかくれたまへばうつくしくたまのかみとまうすうしみあをひと  
被寂然長隱給幣婆顯國王神止申須顯見蒼  
くさおよびけものためにそのやまひをおさむるさまをさだめとりけたものはふむし  
生及畜乃爲爾其病乎療留方乎定米鳥獸昆虫  
のわざはひをはらはんためにそのまじなひやむるのりをさだめたまふこをもつて  
乃災乎拂牟爲爾其禁厭止留法乎定米給布是以

おほんたからいまにいたるまでみなめぐみのふゆをかふむれりとたいへごととへ  
百姓今爾至末豆皆恩賴乎蒙禮利止稱辭竟  
たてまつりうつのひろまへにうつのみけうつのみきうつの  
奉利字豆乃廣前爾字豆乃御膳字豆乃御酒字豆乃  
みてくらをあさひのとよさかのほりにさしけたてまつるたいらけくさこしめせと  
御幣乎朝日乃豊榮登爾捧介奉留平介久聞食止  
まうすたからくらわあめつちとさきはまりなくおほんたからやすくをたやかにに  
申須寶祚天壤止究利無久百姓安穩加爾某  
がしらのいへのうちもろくのさいなんなくよろづのさいはひたまへとよる  
姓名等家乃内諸乃災難奈久萬乃幸比給幣止夜留

のまもりひるのまもりおろかなるはなほもめぐみさいはひたまへとつししみく  
乃守利日留乃守利愚奈留波猶毛惠美幸給比止謹美謹美  
おそれみくまうすとのもれおちんことかんなをひおほなをひにみなをし  
惶美惶美申事乃洩落牟事神直日大直日爾見直之  
たひらげくやすらげくさをしかのおんみをふりたててきこしめせとまうす  
平介久安介久左男鹿乃耳乎振立豆聞食止申須

(一七) 粟島神已待祓  
あはしまじんみまのほらひ  
ひとつみたすくのかんそれつちのとみとはつしみをもどするみを

おほんたからいまにいたるまでみなめぐみのふゆをかふむれりとたへごとをへ  
**百姓今爾至末豆皆恩頼乎蒙禮利止稱辭竟**  
たてまつりうつのひろまへにうつのみけうつのみきうつの  
奉利宇豆乃廣前爾宇豆乃御膳宇豆乃御酒宇豆乃  
みてくらをあさひのとよさかのぼりにさげたてまつるたいらけくきこしめせと  
御幣乎朝日乃豊榮登爾捧介奉留平介久聞食止  
まうすたからくらあめつちとさきはまりなくおほんたからやすくとたやかになに  
申須寶祚天壤止究利無久百姓安穩加爾某  
がしらのいへのうちもろくのさいなんなくよろづのさいはひたまへとよる  
姓名等家乃内諸乃災難奈久萬乃幸比給幣止夜留

のまもりひるのまもりおろかなるはなほもめぐみさいはひたまへとつしみく  
乃守利日留乃守利愚奈留波猶毛惠美幸給比止謹美謹美  
おそれみくまうすとのもれおちんことかなをびおほなをびにみなをし  
惶美惶美申事乃洩落牟事神直日大直日爾見直之  
たひらげくやすらげくさをしかのおんみふりたててきこしめせとまうす  
平介久安介久左男鹿乃耳平振立豆聞食止申須

(一七) 粟島神已待祓  
あはしまじんみまのほらひ  
ひとつみたますくなのかんそれつちのとみとはつしみをとどとするみを  
人津靈少彦名夫已已止波慎乎本止須留身乎

いふみまちはあまねくひとをまつるとぞひとはずなはらばんもつのおさなれば  
云身待波普久人乎祭事會人波則萬物之長奈禮婆  
これをまつるをみまちといふしかりうんめいりやうちやうとしてやくりさ  
是乎祭留乎實眞道止云然利運命良長止之豆藥力  
あはしまのしんりよにかなふきんじやうさいはいかけまくもかしこき  
粟島之神慮爾叶布○謹請再拜再拜掛麻久毛賢  
すくなひこなのみとのうつのひろまへにおそれみおそれみまうす  
少彦名尊乃宇津乃廣前爾恐美恐美申須○抑  
みまちのかみとまうしたてまつるはたかみむすびのみとのみこにし  
已待之神止申奉者高皇產靈之尊乃御子爾之

ていつせんをひやくはしらのすゑのみこすくなひこなのみとなりみたけちひさく  
豆一千五百柱乃末男子少彦名命也御長小作  
ますましてあはをみふねとしてさしうなきさのこほりにつきたまふこと  
御座豆粟乎御船止之豆紀州灘佐之郡爾着給布依  
よつてあはしまたいみやうじんといはひたてまつるときにだいくじんおほわなむち  
之粟島大明神止祭奉于時大國神大已貴  
のみとちからをあはせみこころひとつにしてあめがしたのあをひとぐさのやまひを  
命止力乎合世御心一爾之豆天下乃蒼生人乃病乎  
いやしたまはんとくすしのみちをはじめたまふぐわんそなりそのみとよき  
療治給波牟止醫術之道乎始給布元祖也其已壽

ながくやすらかにしてまごのまごやそつさまでたへざることをまもりたまふかみ  
永安加爾之豆孫乃孫八十續末豆不絶事乎守給布神  
なりことにちあはめにしてはつちなりさみやくうちをばちのかみより  
也殊爾父波天爾之豆母波地也氣脉氏平婆父神與利  
うけこつにくをははのかみよりうくゆゑにつちのどのみとはまうしたてまつる  
請骨肉乎婆母神與利受久故爾士野止乃身止波申奉  
なりいまにいたるまでばんみんおのがみのやまひをこのかみへのりみすやかに  
也今爾至末豆萬民已我巳乃病乎此神邊祈身健

ていつせんごひやくはしらの するのみこすくなひこなのみとなりみ たけちひさく  
豆一千五百柱 乃末男子少彦名命也御長小作  
御座豆栗乎御船止之豆紀州灘佐之郡爾着給布依  
よつてあはしまたいみやうじんといはひたてまつるときにだいこくじんおほわなむち  
之粟島大明神止祭奉于時大國神大已貴  
のみとちからをあはせみごころひとつにしてあめがしたのあをひとごさのやまひを  
命止力乎台世御心一爾之豆天下乃蒼生人乃病乎  
療治給波牟止醫術之道乎始給布元祖也其已壽

ながくやすらかにしてまごのまごや そついさまでたへざることをまもりたまふかみ  
永安加爾之豆孫乃孫八十續末豆不絶事乎守給布神  
なりことにちいあめにしてよいはつちなりきみやくうをばちのかみより  
也殊爾父波天爾之豆母波地也氣脉氏乎婆父神與利  
うけこつにくをははのかみよりうくゆるにつちの どのみとはまうしたてまつる  
請骨肉乎婆母神與利受久故爾士對止乃身止波申奉  
なりいまにいたるまでばんみんおのがみやまひをこりかみへのりみすやかに  
也今爾至末豆萬民已我已乃病乎此神邊祈身健  
さいはひをまちたてまつるゆゑみまの かみとはまうすなりじんりきしんみやうの  
福乎奉待故身待之神止波申須奈利神力神妙乃

おほひなるいさましをあつうやまひふかくしんじてびやうなんきなんをはらひ  
大奈留功德乎厚久敬比深信豆病難奇難乎祓  
のぞきてしそんながくときはかきはにまもりさいはひたまへどつし  
除豆子孫長久常磐堅磐爾守護福給幣止謹美  
つししみおとれみく まうす  
謹美恐美恐美申壽

(一八) 金毘羅神祓

かけまくもかしこきさうづさんじつまりますこんびら おはんがみのひろまへに  
掛卷毛畏岐象頭山爾鎮座須金毘羅大神乃廣前爾

まうさくつらくおもんみればあはせまつるいつはしらのかみことにかなやまひこの  
申佐久倩慮禮婆合祭留五柱神殊爾金山彦  
みことばつちよりなれすかねのみたまのかみにましましてあめがしたのちへいを  
命者地與利生産金乃靈乃神爾座豆天下乃治平乎  
まもりこがねのゆうづうをはかりくにつひとをたすけめかへしめ  
鎮護利金乃融通乎恩慮利國民乎助介惠美榮之米  
たまふかみなればいとみしるしもしろくしてみなたかくあられたまふ  
給神奈禮婆最神驗毛灼然久之豆御名高久顯禮給布  
こをもつておほまへにうづのみけけうづのみさくさくのもの  
是以大前爾字豆乃御饌字豆乃神酒種々乃物乎

よこやまのそとくにつみたらしかんはらひにはらひたまひこひねぎまうせばこがね  
横山乃如久積足良之神祓爾祓給比祈願申世婆金  
をもつてよのたからをうるがごとくはやきこしめしてあやしきことどが  
乎以豆世乃重器乎得留我如久速納受豆禍古止咎  
さはりもあらじものをさほらひたまひきよめたまひてうちとのなすわさあさひ  
障毛利不在物乎止祓給清給豆内外乃所業朝日  
のよよさかのほりにさちくたまへとかしこみかしくじものうなね  
乃豊榮登爾幸福給幣止畏美畏美鵜白毛乃鵜那禰  
つきてまうす

申佐久情慮禮婆合祭留五柱神殊爾金山彦  
命者地與利生產金乃靈乃神爾座豆天下乃治平乎  
鎮護利金乃融通乎恩慮利國民乎助介惠美榮之米  
給神奈禮婆最神驗毛灼然久之豆御名高久顯禮給布  
是以大前爾字豆乃御饌字豆乃神酒種々乃物乎

横山乃如久積足良之神祓爾祓給比祈願申世婆金  
乎以豆世乃重器乎得留我如久速納受豆禍古止咎  
障毛利不在物乎止祓給清給豆内外乃所業朝日  
乃豐榮登爾幸福給幣止畏美畏美鵜自毛乃鵜那禰  
津岐豆申須

(一九) 惠美須神祝詞

掛卷毛畏岐都味齒八重事代主命乃廣前爾白久  
皇親神漏岐神漏美乃命以皇御孫之尊乃豐葦  
原乃水穗乃國乎安國止所知食牟止神問志爾問志給  
布時大神波出雲國二穗之崎爾遊行座鳥遊魚

取乎樂座豆葦原乃中國乎立處爾皇御孫尊爾奉  
良世給幣止白給豆海中爾八重蒼柴垣乎造利船乃柁  
乎蹈豆避給比岐如此避給波親爾孝君爾忠奈留道  
乎吳竹乃世々爾垂給幣留廣久厚岐神德奈留我故爾  
今毛仰尊美奉利豆貴毛賤毛家内乃神齋御棚爾

齋鎮奉禮利又十月二十日爾波世乃言草爾惠美  
須祭止稱奉豆市人乃家々爾祭禮留由波食國乃御  
法乎天下乃公民乃過犯事無久明岐淨岐直岐眞  
心以豆家乎治業乎勤留事乎緩忘事無久穆乃木

取乎樂座豆葦原乃中國乎立處爾皇御孫尊爾奉

良世給幣止白給豆海中爾八重蒼柴垣乎造利船乃柁

乎蹈豆避給比岐如此避給波親爾孝君爾忠奈留道

乎吳竹乃世々爾垂給幣留廣久厚岐神德奈留我故爾

今毛仰尊美奉利豆貴毛賤毛家内乃神齋御棚爾

齋鎮奉禮利又十月二十日爾波世乃言草爾惠美

須祭止稱奉豆市人乃家々爾祭禮留由波食國乃御

法乎天下乃公民乃過犯事無久明岐淨岐直岐眞

心以豆家乎治業乎勤留事乎緩怠事無久穆乃木

乃彌嗣々爾萬代末豆玉葛絕事無久平介久安介久

富榮仕奉志米給幣止言壽豆由貴乃御饌由貴乃

御酒乎如海山置足成豆今日乃朝日乃豐榮登爾

稱辭竟奉留止恐美恐美毛申壽

(二〇) 天滿宮祝文

掛卷毛畏岐天滿天神乃廣前爾白久恭惟婆

帝道乎輔佐利四海爾儀刑志邦家乎守護萬民乎

撫育座豆忠誠波日月止並仁恩波天地止

齊座又文道乃大祖詩歌乃本主爾座豆高

德葦原乃中國與利海隔留異國々末豆鳥乃跡久

止正木乃葛永傳貴毛賤毛老多留毛若

毛皆恩賴乎蒙留誦文能書業乎爲之世乎渡良

比家乎治留厚岐御惠深岐御恩乎仰岐尊美奉豆

今日乃朝日乃豐榮登爾由貴乃御饌御酒字豆乃

御幣乎捧祈申事乃由乎平介久安介久聞食豆



みかをたすけまつりよものくにのりとしくといへをまもりおほんたからを  
帝道乎輔佐利四海爾儀刑志邦家乎守護萬民乎  
やしなひましてまめやかなるとはひつきとならびうつくみのめぐみはあめつちと  
撫育座豆忠誠波日月止並仁恩波天地止  
ひとしくましまたふみのみちのおやからうたやまどうたのもつぬしにましてたかき  
齊座又文道乃大祖詩歌乃本土爾座豆高  
さきはひあしはらのなかつくによりうみべだつるあたしくにくまでとりのあきひさしく  
德葦原乃中國與利海隔留異國々末豆鳥乃跡久  
ささみりまささきのかづらながくつたはりたかきもいやしきも おひたるもわかき  
止正木乃葛永傳貴毛賤毛老多留毛若

もみなみたまのふゆをかふひりてふみよみものかくわざをなしよをわたら  
毛皆恩頼乎蒙留誦文能書業乎爲之世乎渡良  
ひいへをしらすあつさみめぐみふかきうつくしみをあふぎたふとみたてまつりて  
比家乎治留厚岐御惠深岐御恩乎仰岐尊美奉豆  
けふのりひのとよさかのほるにゆきのみけみきさうつの  
今日乃朝日乃豐榮登爾由貴乃御饌御酒字豆乃  
みてくらしをさげまつりいのりまうすとのよしをたいらげくやすらげくさしめして  
御幣乎捧祈申事乃由乎平介久安介久聞食豆  
あまつひつぎはあめつちひつさとかぎりなくあめのしたたいらかにおほんたから  
天津日嗣波天地日月止無疆天下泰平爾萬民

とみさかへてふみのをしへなかくひさしくまなびのわざならんをとばさねきたてまつる  
富榮豆文教永久學術成就幸事乎言祝願  
かみのみうまのみいのいやたかにさしめしてよるのまもりひるのまもりにもまもり  
神乃御馬乃耳乃彌高爾聞食豆夜乃守日乃護爾守  
さいはひたまへとたいへんをへまつるとおそれみくもまうす  
幸給弊止稱辭竟奉止恐美恐美毛申壽

(二一) 庚申禱

あまつみおやさるだひこだいのじんそれかうしんとはいかりをさるをいふこう  
天津祖猿田彦太神夫庚申止波怒乎去留乎云高

いまちしはあまねくてんをまつることぞてんはすなはちふばなればこれを  
神待波遍久天乎祭留事會天波則智父母奈禮婆是乎  
まつるをかうしんといふしかりふくろくわんらくにすみてだうそじんのめぐみ  
祭留乎孝心止云然利福祿寬樂爾住豆道祖神乃惠  
にかなふ さんじやうさいはいくかけまくもかしこきあめつちひらけてみち  
爾叶布 ○謹請再拜再拜掛卷毛畏岐 天地開闢道  
のおやたいじんさるだひこのみとのうつのひろまへにおそれみくもまうすたか  
祖太神猿田彦命乃宇豆乃廣前爾恐美恐美毛申高  
まがらほにかみとまりましますすめむつかみろさかみろみのみとをもつてあめの  
天原爾神留座須皇親神漏岐神漏美乃尊乎以豆天

たかいちにや はよろろづのかみたちをかみあつめにあつめたまひ かみはかりに  
高市爾八百萬乃神等乎神集爾集給比神議爾  
はかりたまひてわがすめみまごのみとをもつてとよあしはらのみづほのくにを  
議給比豆吾皇孫乃尊乎以豆豐葦原乃水穗乃國乎  
やすくにたいたいらげくしろしめせとあまのいはくらおしはちあまのやえ  
安國止平介久所知食止天乃磐座押放天乃八重  
くもをいつのち わさにちわきてあまくだりよさしたてまつりしとあまのや  
雲乎伊豆乃道別爾道別豆天降依之奉志時天乃八  
ちまたのちまたにたてむかへましますかみはなのながさなはたそびらのながさな

天津社猿田彦太神夫庚申止波怒乎去留乎一五高

神待波遍久天平祭留事會天波則智父母奈禮婆是乎  
祭留乎孝心止云然利福祿寬樂爾住豆道祖神乃惠  
爾叶布○謹請再拜再拜掛卷毛畏岐天地開闢道  
祖太神猿田彦命乃宇豆乃廣前爾恐美恐美毛申高  
天原爾神留座須皇親神漏岐神漏美乃尊乎以豆天

高市爾八百萬乃神等乎神集爾集給比神議爾  
議給比豆吾皇孫乃尊乎以豆豐葦原乃水穗乃國乎  
安國止平介久所知食止天乃磐座押放天乃八重  
雲乎伊豆乃道別爾道別豆天降依之奉志時天乃八  
衢乃衢爾立迎座壽神鼻乃長佐七尺背乃長佐七

尋餘亦口隱禮明利照里眼波八咫乃鏡乃如久光  
耀古登赤酸醬爾似多利天乃神乃皇御孫乎奉迎豆  
相待朝日乃來向夕日照壽日向乃高千穗乃櫛觸  
乃嶽爾導給比遂爾伊勢乃狹長田五十鈴乃川上爾  
鎮利定利日乃神乃道乎慎美敬比給布天下乃地君

成我故爾國底立神止名乃利給布不視不聽不言混  
沌乃始乎守利時爾隨比出座豆氣乃神止號給比根  
乃國底乃國與利荒比疎比來者乎降伏守豆怒猛神  
止名乃利給比生留物乃為爾波身命福德乎授豆太田  
神止號給布能神靈乎返豆興玉乃神止號給布是皆

自然乃御名爾之豆物皆證顯安利止奉辭稱竟宇  
豆乃御食宇豆乃神酒宇豆乃幣帛乎朝日乃豐榮  
登爾捧持奉稱辭竟平介久安介久知聞食  
止天乃八平手乎打豆奉留皇御孫乃尊乎導守利給

鎮利定利日乃神乃道乎慎美敬此給布天下乃地君

なるがゆゑにそなたのなりのりたまふみざるさかざるいはざるまろ  
成我故爾國底立神止名乃利給布不視不聽不言混  
がれのはしめをまもりときにしたがひいでましゝていきのかみどなりのりたまひね  
沌乃始乎守利時爾隨比出座豆氣乃神止號給比根  
のくにそこのくによりあらひうとひきたるものをしたかへまもりておに  
乃國底乃國與利荒比疎比來者乎降伏守豆怒猛神  
となりのりたまひいけるもののためにはみいのちさいはひをさづけておほたの  
止名乃利給比生留物乃為爾波身命福德乎授豆太田  
かみどなりのりたまふよくみたまひをかへしておきたまのかみどなりのりたまふこれみな  
神止號給布能神靈乎返豆興玉乃神止號給布是皆

おのづからのみなにしてものみなしるしありとたいへごとをたてまつるう  
自然乃御名爾之豆物皆證顯安利止奉辭稱竟宇  
つのみけけうつのみきうつのみてくらをあさひのときさか  
豆乃御食宇豆乃神酒宇豆乃幣帛乎朝日乃豊榮  
のほりにさげもちてたいへごとをへたてまつりたいらけくやすらけくきこしめせ  
登爾捧持奉稱辭竟平介久安介久知聞食  
とあまのやひらでをうちてたてまつるすめまごのみとをみちびきまもりたま  
止天乃八平手乎打豆奉留皇御孫乃尊乎導守利給  
ひてあめがしたよものくにやすくおたやかにながしがいへのうちよりおこ  
比豆天我下四方乃國安久穩爾某我家乃内與利起

るさはぎなくはかよりきたるわざはひなくよるのまもりひるのまもりじんをひ  
留騷擾奈久外與里來留災奈久夜乃守晝乃守神直日  
おほなをびいすいのみちらみちびきことぶきめぐみさいはひたまへといの  
大直日五十鈴乃道爾導壽惠美幸給幣止祈  
りまうすことをたいらけくやすらけくこまひきたててきこしめせとつしみつし  
禱申事乎平介久安介久駒率立豆所聞食止慎美慎  
みおそれみくもまうす  
美恐美恐美毛申須

(二卷) 船玉祓

おそれみかしこみもふなだまたいみやうじんひろまへにまうしてまうさくつらく  
恐禮美畏美毛船玉大明神乃廣前爾申豆申佐久倩  
おもんみればおほみかみはくしひにあやしきみいづましゝてうつしきあをひ  
慮美禮婆大御神波靈異爾奇岐御稜威座豆顯見蒼  
とくさのさいはひをまもりたまひたすけたまふかみになもましけるやまゆかば  
生乃幸乎守利給比助介給布神爾奈毛座介留山行婆  
やまぢをひらきたまひくがゆかばくがみちをみちびきたまひかはくにははしを  
山路乎開給比陸行婆陸道乎道給比河川爾波橋乎  
わたしてゆきわたるとせしめしたまひはしもおよばぬおほらなばらにはふね  
渡之豆行渡事乎令知給比橋毛及婆奴大海原爾波船

をつくりてちさとこのうらにゆきかよふとをおしへたまふゆゑにやまくちに  
乎造利豆千里乃浦爾行通事乎教幣給布故爾山口爾  
はたむけのかみとあがめまつりちまたにはだうろくじんといはひまつりうな  
波手向乃神止崇祭利阡陌爾波道陸神止奉齋海  
のべにてはふなだまのかみとあふさまつりいともかしこきそこのしられぬうな  
上爾豆波船玉乃神止奉仰祭甚毛畏岐底意知禮怒海  
ばらをこゝろのままにゆきかよふおほみかみのみたまのふゆにこそといま

おそれみかしこみもふなだまたいみやうじんのひろまへにまうしてまうさくつらく  
恐禮美畏美毛船玉大明神乃廣前爾申豆申佐久倩  
おもんみればおほみかみはくしひにあやしきみいづましくてうつしきあをひ  
慮美禮婆大御神波靈異爾奇岐御稜威座豆顯見蒼  
とくさのさいはひをまもりたまひたすけたまふかみになもましけるやまゆかば  
生乃幸乎守利給比助介給布神爾奈毛座介留山行婆  
やまぢをひらきたまひくがゆかばくがみちをみちびきたまひかはくにははしを  
山路乎開給比陸行婆陸道乎道給比河川爾波橋平  
わたしてゆきわたるとしろしめしたまひはしもおよばぬおほうなばらにはふね  
渡之豆行渡事乎令知給比橋毛及婆奴大海原爾波船

をつくりてちさとのうらにゆきかよふとををしへたまふゆゑにやまくちに  
乎造利豆千里乃浦爾行通事乎教幣給布故爾山口爾  
はたむけのかみとあがめまつりちまたにはだうろくじんといはひまつりうな  
波手向乃神止崇祭利阡陌爾波道陸神止奉齋海  
のべにてはふなだまのかみとあふぎまつりいともかしこきそこのしられぬうな  
上爾豆波船玉乃神止奉仰祭甚毛畏岐底意知禮怒海  
ばらをこゝろのままにゆきかふはおほみかみのみたまのふゆにこそといま  
原乎自由自在爾往來波大御神乃恩頼爾社止今  
おほひろまへにうつのみけうつのみきくさくのものさ、やたいへんをへ  
大廣前爾珍乃御食珍乃御酒雜雜乃物捧稱辭竟

まつることのかたちをきこしめしあひうつのひたまひてなみかせのわざひなく  
奉留此狀乎聞食相字豆乃比給比豆風波乃災奈久  
こゝろのまににたいらかにやすらかにかよはしめめぐみさいはひたまへまもりたまへ  
心乃儘爾平加爾安加爾令通行惠幸給幣守給幣  
とおそれみかしこみもまうす  
止恐美畏美毛申壽

(二三) 三科祓

たかまのはらにすめるまろとはゆらゆらとほらひゆれゆ  
高天原爾住留麻呂都波由良由良止祓比由禮由

れとはらふひれひれときよめひらひらときよめてか  
禮止祓布比禮比禮止清米比良比良止清米豆可  
んのんてんとわれみやしろにいてもちてみしなのみたにに  
々牟濃牟天牟止我宮柱爾出持豆三科乃三谷爾  
わけてそのいれみちののりにふさりてつくるあらしこがらしにおちるたきにかせ  
分豆其入道乃乘爾吹截豆造留嵐颯爾落留瀧爾風  
はしくなみはなるおとをさほしかのやつのおんみ、をふりたててきこしめせわれ  
波布浪波鳴音乎竿牡鹿乃八乃耳乎振立豆聞食吾  
はこまをひきたててゆくとまうす  
波駒乎曳立豆行止申壽

(二四) 祈念祝詞

かけまくもかしこきもろかんだちのひろまへにおそれみおそれみもまうさくつらく  
掛卷毛畏豆諸神等乃廣前爾恐美恐美毛申佐久宇豆  
のみてぐらならびにしゆくのものをささげそなへてきよきこゝろのまをささきと  
乃幣帛竝爾種々乃物乎捧介供豆丹精乃誠乎先止  
しかみよののりをあがめまさにすなほのものとくにかへりよりしよこしませの  
之神代乃古風乎崇敬正直乃根元爾歸依之邪曲乃

禮止祓布比禮比禮止清米比良比良止清米豆可  
々牟濃牟天牟止我宮柱爾出持豆三科乃三谷爾  
分豆其入道乃乘爾吹截豆造留嵐颯爾落留瀧爾風  
波布浪波鳴音乎竿牡鹿乃八乃耳乎振立豆聞食吾  
波駒乎曳立豆行止申壽

(二四) 祈念祝詞

掛卷毛畏豆諸神等乃廣前爾恐美恐美毛申佐久宇豆  
乃幣帛竝爾種々乃物乎捧介供豆丹精乃誠乎先止  
之神代乃古風乎崇敬正直乃根元爾歸依之邪曲乃  
末法乎棄捨豆今神道乃妙行乎奉願祈吾國

根元乃祓乎以豆稱辭奉此狀乎平介久安  
介久聞食豆願主身心安穩衆病悉除壽命長  
延福祿圓滿爾之豆家内親屬朋友万豆毛事故無  
久愚奈留心乎明之米給比何波乃事毛足止思與利樂之  
岐波莫禮婆足古止乎知之米牛馬乃蹄爾至末豆安穩

息災爾之豆憐愍乎垂給幣止恐美恐美毛申壽  
辭別爾申佐久穢氣不淨不信懈怠乃罪咎崇有豆  
諸神等乃御心爾不叶共廣久厚岐仁慈乎垂給豆  
清岐御心爾宥恕給豆神直日命大直日命止見直  
之間直之給豆祈願圓滿應感成就無上寶靈神

道加持

(二五) 疫神祓

恐禮美畏美毛申豆申左久高天原爾神留座豆事始給  
之神漏岐神漏美乃命乎以八百萬乃神等乎神集

息災爾之豆 憐愍 愍乎 垂給幣止恐美 恐美毛 申壽  
辭別爾申佐久穢氣不淨不信懈怠乃罪咎崇有豆  
諸神等乃御心爾不叶共廣久厚岐仁慈乎垂給豆  
清岐御心爾宥恕給豆 神直日命大直日命止見直  
之聞直之給豆祈願圓滿應成成就無上寶靈神

道加持

(二五) 疫神祓

恐禮美畏美毛 申豆申左久高天原爾神留座豆事始給  
之神漏岐神漏美乃命乎以八百萬乃神等乎神集  
爾集給比神議給豆荒振神等乎神攘爾祓給比神和

爾和美給國乃內爾座崇神疫神時行神等波荒比  
健比給布事無之豆高天原爾始給比之事乎神乍毛  
所知食豆和末利鎮利在座止廣前爾宇豆乃御食宇  
豆乃御酒雜々乃多米都物獻留此狀乎平介久安  
介久聞食給比豆大元乃神靈爾歸利混沌乃始乎守利

給豆厄乃災乎祓給退給豆守給比幸  
給幣止恐禮美畏美毛申玉波久止申壽

(二六) 日待之祓

高天原爾神留座須皇親神漏岐神漏美之命乎  
以日皇太神乎奉請青體乃幣帛白體乃幣帛乎百

机爾悉備獻種々之物乎横山之如久積足  
之豆百度乃置戸乎以豆祓給清給豆朝日乃豐  
榮乃光照須天曉介待奉祭祀乃御太麻乃倍心  
成就爾常磐殿主磐爾守給豆延齡之事乎八百萬

たまひてゑやみのわざはひをばらひたまひしりぞけたまひてまもりたまひさいはひ  
給 豆厄乃災乎 祓給 退 給 豆守給比 幸  
たまへとおそれみかしこみもまうしたまはくとまうす  
給幣止恐禮美畏美毛申玉波久止申壽

(二六) 日待之祓

たかまがはらにかみといまりましますすめむつかみろぎ かみろみのみことを  
高天原爾神留座須 皇親神漏岐神漏美之命乎  
もつてひすめおほんかみをおぎまつりあをとのみてくらしらのみてくらをいしりの  
以日皇太神平奉請青體乃幣帛白體乃幣帛乎 百

つくへにとくそなへまつりくさくのしなをよこやまのことく つみたら  
机爾悉備獻種々之物乎横山之如久積足  
してもいどぐらの おきせを もつてはらひたまひきよめたまひてあさひの  
之豆百度乃置戸乎 以豆祓給 清給 朝日乃豊  
さかのて らすみか げまらたてまつるまのりのみぬさのみふこゝろ  
榮乃光照須天曉介待奉 祭祀乃御太麻乃倍心  
まをかにときは かさはにまもりたまひてつるよはひのこをや はよろづの  
成就爾常磐堅磐爾守給 豆延齡之事乎八百萬  
かみたちもろともにきこしめせとまうす  
神等諸共爾所聞食止申壽

(二七) 月待之祓

かけまくもかしこきつきゆみのみとはじやうげんのおほざらをつかさとりたまふつき  
掛毛 畏 岐月弓尊者 上弦乃大虚乎 主給布月  
よみのみとはるんまんのちうてんをてらしたまふつきよみのみとはげげんのそ  
夜見尊波圓滿乃中天乎 照給布月讀尊波下弦乃虚  
らをしろしめすさんじんさんてんをしろしめせとまうすこのよしをきこしめし  
空乎知食須三神三平知食 止申須事乃由平聞食  
てさぐわんるんまんかんおうじやうじゆむじやうれいほうしんたうかじ  
三祈願圓滿感應成就矣 无上靈寶神道加持

(二八) 產生神祓

たかまがはらにかみといまりましますすめむつかみろ ぎかみろみ のみとを  
高天原爾神留座須 皇親神漏岐神漏美之命乎  
もつてかみありつにいついろのみてくらをたてまつりいをさのかみいくものかみ  
以神明爾五色乃幣帛乎奉俱五臟乃神五方乃神  
いづらの かみををさまつりてかんはらひにはらひたまへばあまつかみくにつかみ  
五行之神乎奉請 豆神祓 祓 給 婆 天神地祇神  
やそ よろづかんたちしもみち いほをすかみしづめまもるうじがみすみまこ  
八十萬神等下三千一百餘神鎮守氏神速 爾

きこしめしてたいらけくやすらけくすめかみあまくたりたてまつるかくあまくたり  
納受 豆平介久 安介久 皇神降臨奉 留 如此平産  
たまひてつみどがたよりわざはひげがれはあらじものをとはいことながとぶきに  
給 豆 罪咎崇 禍穢者 不在物乎 止 母與子長壽 爾  
まもりたまふとのよしをやはよろづのかみたちもろともにきこしめせとまうす  
守給事乃 由平八百萬神等諸共 爾聞食止申壽

(二九) 潔齋祝詞

けいさいのり  
けいさいのり

(二八) 產生神祓

たかまがはらにかみといましましますすめむつかみろさかみろみのみとを  
高天原爾神留座須皇親神漏岐神漏美之命乎  
もつてかみありつにいついろのみてくらをたてまつりいをさのかみいくものかみ  
以神明爾五色乃幣帛乎奉俱五臟乃神五方乃神  
いづらのかみをさまつりてかんはらひにはらひたまへばあまつかみくにつかみ  
五行之神乎奉請豆神祓爾祓給婆天神地祇神  
やそよろづかんたちしもみちいほをすかみしづめまもるうじがみすみまこ  
八十萬神等下三千一百餘神鎮守氏神速爾

きこしめしてたいらけくやすらけくすめかみあまくたりたてまつるかくあまくたり  
納受豆平介久安介久皇神降臨奉留如此平産  
たまひてつみどがたりりわざはひけがれはあらじものをとほことながとびきに  
給豆罪咎崇禍穢者不在物乎止母與子長壽爾  
まもりたまふとのよしをやはよろづのかみたちもろどもにきこしめせとまうす  
守給事乃由乎八百萬神等諸共爾聞食止申壽

(二九) 潔齋祝詞

おそれみかしこみもまうすけふのいくひのたるひをもつてうちとをばらひ  
恐禮美畏美毛申今日乃生日乃足日乎以内外乎祓

きよめしめひきはへてもいみしはらひたまひきよめたまへとまうす  
清住連引延豆物忌志祓給比清給幣止申壽

(三〇) 山神祓

たかまのはらにかみといましましますすめむつかみろさかみろみのみとをもつて  
高天原爾神留座須皇親神漏岐神漏美之命乎以  
おほやますみおほんかみをおぎまつりてあをとのにきてみもどしらとの  
大山祇大神乎奉請豆青體乃和幣三本白體乃  
にきてみもどをひとつらにおきたてくさくさのそなへものおきたかなして  
和幣三本乎一行爾置立豆種々乃備物置高成豆

かみはぎにみはぎたまへははやさこしめしてあしきことかたうりはあらじものをと  
神祈爾禱給幣婆速納受豆禍事咎崇波不在物乎止  
はらひたまひきよめたまふよしをやはよろづのかみたちもろどもにきこし  
祓給比清給由乎八百萬神等諸共爾所聞  
めせとまうす  
食止申壽

(三一) 海神祓

たかまのはらにかみといましましますすめむつかみろさかみろみのみとを  
高天原爾神留座須皇親神漏岐神漏美之命乎

もつておほわたつみこわたつみもろわたつかみをたへたてまつりていついろのにぎ  
以大海龍小龍諸龍神乎奉稱豆五色乃幣  
てといかたにどりはへてしなくのそなへものをよこやまにおきたらして  
帛乎五方爾取配豆品般乃供物乎横山爾置足之豆  
かみはらひにはらひたまひてきよめさひねをさとしてはやきこしめすめかみり  
神祓爾祓給豆清淨岐心鳥悟豆速納受志皇神乃御  
ことによざしたてまつておほうなばらにあれますひろものさものをかみつせひに  
勅爾依奉豆大海原爾有住須廣物狹物乎神集爾  
つせひたまひあまにいらたまひひのまもりよのまもりたまひてつみ



かみほぎにみほぎたまへははやくこしめしてあしきことかたよりあらじものをと  
神祈爾禱給幣婆速納受皇禍事咎崇波不在物乎止  
はらひたまひきよめたまふよしをやはよるづのかみたちもるともにきこし  
祓給比清給由乎八百萬神等諸共爾所聞  
めせと申す  
食止申壽

(三二) 海神祓

たかまのはらにかみといましましすすめむつかみろさかみろさの  
高天原爾神留座須皇親神漏岐神漏美之命乎

もつておほわたつみこわたつみもろわたつかみをたへたてまつりていついろのにぎ  
以大海龍小龍諸龍神乎奉稱皇五色乃幣  
てといかたにどりはへてしなくのそなへものをよこやまにおきたらして  
帛乎五方爾取配品般乃供物乎横山爾置足之皇  
かみはらひにばらたまひてきよめさむねをさとしてはやきこしめしすめかみりみ  
神祓爾祓給皇清淨岐心鳥悟皇速納受志皇神乃御  
ことによさしたてまつておほうなばらにあれますひろものさものをかみつひに  
勅爾依奉皇大海原爾有住須廣物狹物乎神集爾  
つひたまひあまにいたまひひのまもりのまもりにまもりたまひてつみ  
集給比綱目爾入給比日乃守夜乃護爾守護給皇罪

とがたよりはあらじものとときはかたはにきよめたまひしことよしをや  
咎崇波不在物乎止常磐堅石爾清給事之由乎八  
はよるづのかんたちもるともにきこしめせと申す  
百萬神等諸共爾所聞食止申壽

(三三) 衢神祝詞

たかまのはらにことはじめすめまごのみととたいへことをへまつるおほや  
高天原爾事始皇御孫之命止稱辭竟奉大八  
ちまたにゆついはむらのことくふまがりますすめかみたちのまへにまうさくや  
衢爾湯津磐村乃如久塞座皇神等之前爾申久八

ちまたひこやちまたひめくなととみなをばまうしてたいへことをへ  
衢比古八衢比賣久那斗止御名波申稱辭竟  
まつらくはねのくにそこのくによりあらびうとびきたらんものにあひたがひあひ  
奉久波根國底國與利龜備疎備來物爾相卒相  
くちあはせたまふとなくてしたをゆかばしたをまもりうへをゆかばうへをまもりよる  
口會事無皇下行婆下乎守利上往婆上乎守利夜  
のまもりひのまもりにまもりまつりいはひまつれとたてまつるみてぐらはあかるたへ  
之守日之守爾守奉齋奉禮止進幣帛波明妙  
てるたへにぎたへあらたへをなへまつるみきはみちのべたかよりかみのはらみち  
照妙和妙荒妙備奉御酒波張邊高知神腹滿

らべてしるにもかびにもやまのにすむものはけのにぎものけのあらもの  
雙豆汁爾毛穎爾毛山野爾住物波毛乃和物毛乃荒物  
あをみはらにすむものははたのひろものはたのさもへおさつもはへ  
青海原爾住物波鰭乃廣物鰭乃狹物與津海菜邊  
つもはいたるまでよこやまのことくをきたらはしてそまつうづのみて  
津海菜爾至末皇横山之如久置所足皇進宇皇乃幣  
ぐらをたいらけくきこしめしてやちまたにゆついはむらのことくふまがります  
帛乎平介久間食皇八衢爾易津磐村之如久塞座

ちまたひこ やちまたひめ く なせ とみ なをば まうしてたへことせへ  
衢比古八衢比賣久那斗止 御名波申 且稱辭竟  
奉久波 根國底國 與利 龜備疎備 來物爾相 卒相  
口會事無 且下行 婆下乎 守利上往 婆上乎 守利夜  
之守日之守 爾守奉齋奉 禮止 進幣帛波 明妙  
照妙和妙 荒妙備奉 御酒波 應邊高知神 腹滿

らべてしるにもかびにもやまのにすむものはけのにぎものけのあらもの  
雙豆汁爾毛穎爾毛山野爾住物波毛乃和物毛乃荒物  
青海原爾住物波 廣物 廣物 廣物 廣物 廣物 廣物 廣物 廣物 廣物 廣物  
津海菜爾至末豆 橫山之如久 置所足 進宇豆乃幣  
帛乎 平介久聞 食豆八衢爾 湯津磐村之如久 塞座  
皇御孫命乎 堅磐爾 常磐爾 齋奉 茂御世爾 幸

たまへとまうす またみとおほさんだちもうちきさんだちも一のつかさびとたちあめが  
給止申 又親王等王臣等百官人等天  
下公民爾至末豆爾 平介久齋給幣止 神官天津祝詞  
乃太祝詞事乎 以且稱辭竟 奉止申壽

(三三三) 屋堅之祓

高天原爾神留座 須 皇親神漏岐神漏美乃命乎 以

てよものくになかにおほやまとひたかみのくにを やすくにさまたてまつりて  
四方乃國中爾大倭日高見國乎 安國止 定奉 且  
下津磐根爾宮柱太敷立高天原爾千木高知 且吾  
皇御孫尊乃美頭乃御舍爾仕奉 且天乃御陰日乃御  
蔭止 隱座 且安國止 平介久所知食 牟國中爾成出 牟  
天益人等加過乎 犯介牟種々乃 罪事 且崇利 且利天

津祝詞乃 太祝詞乃 事乎 宣禮 如此宣 良婆 罪止 云罪  
咎止 云咎波不在物乎 止 祓給 清給 止 申事 乃由 乎  
八百萬神等共爾 左男鹿乃 八耳 乎 振立 且所  
聞食 止 申壽

てよものくになかにおほやまとひたかみのくにをやすくにさまたてまつりて  
四方乃國中爾大倭日高見國乎安國止定奉  
下津磐根爾宮柱太敷立高天原爾千木高知  
皇御孫尊乃美頭乃御舍爾仕奉天乃御陰日乃御  
陰止隱座安國止平介久所知食牟國中爾成出牟  
天益人等加過乎犯介牟種々乃罪事咎崇利且利天

津祝詞乃太祝詞乃事乎宣禮如此宣良婆罪止云罪  
咎止云咎波不在物乎止祓給清給止申事乃由乎  
八百萬神等共爾左男鹿乃八耳乎振立且所  
聞食止申壽

(三四) 雨乞祝詞

掛卷毛畏岐其大神乃廣前爾白久今年春乃始與利  
安麻美豆繼豆降零婆天下乃公民乃取作禮留奧  
津御歲乎豐年爾成幸給波牟止嘉美悅備之爾頃日  
炎旱日乎經豆百姓乃田作穀物乎始草乃片葉爾  
至留末豆枯萎留我故爾今日乃生日乃足日乃朝日乃

豐榮登爾禮代乃幣帛由紀乃御酒御贄乎橫山乃  
如置足波之豆由志理伊都志理持齋麻波里清麻  
波利祈禱申事乃由乎平介久安介久聞食且忽爾  
天津御空多奈雲入天津美津古保須我如降且  
大神等乃敷座須山山乃口與利狹久那多利爾下

給水乎甘水乃美水止大御田爾受且五穀  
秋乃垂穗八握穗爾佐加幣志米成榮給者初穗乎婆  
汁爾毛穎爾毛八百稻千稻爾引居置且秋乃祭爾遠  
御膳乃長御膳止赤丹乃穗乎神穎爾聞食止言祝奉



(三五) 鎮火祝詞

高天原爾神留座須皇親神漏岐神呂美乃命乎以  
皇御孫命乎婆豐葦原乃水穗乃國乎安國止平介久  
所知食止天下所寄奉志時爾事奉仍之天津祝詞  
太祝詞乃事乎以豆申佐久神伊佐奈岐伊佐奈美

乃命妹背二柱乃神嫁繼給豆國乃八十國嶋乃八  
十嶋乎生給比八百萬神等乎生給比豆麻奈弟子爾  
火結乃神乎生給比豆美保止被燒豆石隱座豆夜七  
日晝七日吾乎奈見給比會吾奈脊乃命止申之給比  
岐此七日爾波不足豆隱座事奇止豆見所行須時爾

火乎生給豆御保止乎所燒座岐如是時爾吾奈脊乃  
命乃吾乎見給布奈止申乎吾乎見阿波多之給比津止  
申給豆吾名脊乃命波上津國乎所知食倍之吾波下  
津國乎所知食牟止申豆石隱禮給比豆與美津牧坂  
爾至座豆所思食久吾名妹乃命乃所知思須上津國

爾心惡子乎生置豆來奴止宣豆返座豆更爾生子  
水神瓢川菜埴山姬四種乃物乎生給豆此乃心  
惡子乃心荒比會波水神瓢埴山姬川菜乎持豆鎮  
奉禮止事教悟給比岐依之豆雜々乃物乎備豆天津  
祝詞乃太祝詞乃事乎以豆稱辭竟奉久止申

これは鎮火の祝詞なれば火災をまぬがれんために常につゝ  
しみとなへ奉るべきのりとなり

(三六) 祖廟靈鎮祓

大元尊神生命成就心者則一元未生之神

にころさがなきことをうみおきてきぬとのたまひてかへりましてさらにみこをうむ  
爾心惡子乎 生置豆來奴止 宣豆返座豆 更爾生子  
みづのかみひさかばな はにやまひめよくさの ものをうみたまひてこのころさが  
水神瓢川菜植山姫四種乃物乎 生給豆 此乃心  
なきこのころあらひそは みづのかみひさかばな ひめかはなをもちてしづめ  
惡子乃心荒比曾波 水神瓢植山姫川菜乎 持豆鎮  
まつれとことをしへさしたまひさこれによりてくさくのものそなへてあまつ  
奉禮止事教悟給比岐 依之豆 雜々乃物乎 備豆天津  
のりとの ふとのりとの ことをもつてたいへんことをへまつりくとまうす  
祝詞乃太祝詞乃事乎 以豆 稱辭竟奉久止申

これは鎮火の祝詞なれば火災をまぬがれんために常につゝ  
しみとなへ奉るべきのりとなり

(三六) 祖廟靈鎮祓

だいげんそんしんしやうめいじやうじゆこころはすなはちいちげんみしやうのしん  
大元尊神生命成就心者則一元未生之神  
めいなりはじめをはしめとしてはじめのはじめにいるもをもととしてこのころ  
明也元元而元入元本本而依本

心登天報命住日少宮

生れ來ぬ先も生れて住る世も

まかるも神のふところのうち

(三七) 俗神拜次第

まつしんせんじかひいちゆう  
先神前向一揖

つぎにさいはし

扇子を正しくして二度拜するなり

つぎにかしはで

ニッ

みくさのほらひ

とほ 鏡 笑 賜 祓 賜 清 賜

さねん

かけまく 掛卷もかしこき大神の廣まへにおろれ

かしこ 今にちたいいましんこくこんげん  
み 畏みも今日唯今神國根源のはらひを

さよ たてまつ かつて 清め奉るゆゑあしき災ひたより

とももろく ある共 諸のけかれさはりは餘所外へ

よる ゆき はる 雪うしはの泡のごと

うしな 春の雪うしはの泡のごと

次拍手

二ツ

次三種祓

瓊矛鏡笑賜祓賜清賜

次祈念

掛巻もかしこき大神の廣まへにおろれ

み畏みも今日唯今神國根源のはらひを  
もつて清め奉るゆゑあしき災ひたゞり  
ある共諸のけかれさはりは餘所外へ  
はらひ除けて春の雪うしほの泡のごと  
くさやし失ひて祈願圓滿感應納受なご

しめ給へどまうす 其餘は心にまかす

次拍手 ぶたつ

次再拜 はじめのごとし

次一揖 はじめのごとし

退下 しりぞくなり

(三八) 遙拜祝詞

恐禮美畏美毛申且申佐久不思今日大神乃大廣前平  
通行奉禮婆甚畏久毛叩頭奉拜禮奉此狀平  
平介久安介久聞食給幣止申須

右は諸人神社の鳥居まへを通行するに御社頭とはければる  
ながらえうはいするおんなり

(三九) 降來要文 神祇をむかひ

謹而奉勸請御社なご此所へ降臨鎮座  
仕給ひて神國の祓可壽々々を平げく康らげ  
く聞食て願ふ所感應納受なごしめ給へ誠恐  
誠惶降烈來座敬白大哉賢哉乾元

通行奉禮婆甚畏久毛叩頭奉拜禮奉此狀平  
平介久安介久聞食給幣止申須

右は諸人神社の鳥居まへを通行するに御社頭とはければる  
ながらえうはいするおんなり

(三九) 降來要文

謹而奉勸請御社なま此所へ降臨鎮座  
仕給ひて神國の祓可壽々々を平げく康らけ  
く聞食て願ふ所感應納受なごしめ給へ誠恐  
誠惶降烈來座敬白大哉賢哉乾元

亨利貞如律令

(四〇) 神供祝詞

廣前爾秋乃垂穎乃八握穗平持清末波利御炊岐豆備  
留御食波柏葉爾高良加爾拍八平手乃音平良介久安  
良介久神波聞末世宇豆乃大御膳

(四一) 送納要文

掛まくも賢さ天神地祇爰に降臨一切の諸神  
等元の本宮へおくり奉る恐ながら承引給へ  
送納歸宮住社敬白天福皆來地福圓滿神  
道神力一切諸願成就守らせ給へと恐美々

々申壽

○祓潔拂洒  
これは神家口けつにして洒水の  
神もんなり

○毘良都普呂企  
これまた口けつにして開帳のものなり

(四二) 略神拜次第

先進神前 次 拍掌二ツ

天のもろ手じすび



等元の本宮へおくり奉る恐ながら承引給へ  
送納歸宮住社敬白天福皆來地福圓滿神  
道神力一切諸願成就守らせ給へと恐美々

々申壽

○祓潔拂酒

これは神家口けつにして洒水の神もんなり

○毘良都普呂企

これまた口けつにして開帳のものなり

(四二) 略神拜次第

先進神前

立ながら一禮 座して一禮 次

拍掌一ツ

天のもろ手むすび  
十たからむすび

次

祓

祝詞

祈願

拍掌二ツ

次 三拜

座して二禮 立て一禮

退下

くはしくはじんひ口傳なれば 其宮人にてんじゆを受くべし

(四三) 御食御酒乃祝詞

畏最 貴基 神祇乃大廣前仁宇豆能幣帛於捧天諸

品濃色香乎以天清岐御食神酒於奉氏祈禱事於

皇神康介久平氣久八百萬神達諸共仁納受壽

此祝詞は朔日十五日廿八日其外祝日には神祇へ御膳神酒を奉る神拜の祝詞なり

(四四) 神酒祝詞

荒稻乎持清末波利和稻乎持齋波利豆造留御酒字爾  
乃平賀爾八盛豆會天乃榮屋國乃昌也稱辭竟奉留  
大御酒

(四五) 神家故實

大祀

とは月の

中祀

とは三日の

小祀

とは一日の

(四六)

神家忌詞内七言外七言

此祝詞は朔日十五日廿八日其外祝日には神祇へ御膳神酒を奉る神拜の祝詞なり

(四四) 神酒祝詞

荒稻乎持清末波利和稻乎持齋波利豆造留御酒字爾乃平賀爾八盛豆會天乃榮屋國乃昌也稱辭竟奉留大御酒

(四五) 神家故實

大祀 中祀 小祀

(四六) 神家忌詞内七言外七言

佛 僧 死 打 堂 穴 墓 哭 齋 塔 寺 血 以上内七言 以上外七言

(四七) 天津祝詞

高天の原に神留坐す神魯岐神魯美の命以て皇御祖神伊邪那岐の命筑紫の日向の橘の小戸の阿波岐原に御禊祓ひ給ふ時に生

坐る祓戸の大神等諸の枉事罪穢を祓ひ賜へ清め賜へと申す事の由を天つ神國つ神八百萬の神等共に天の斑馬の耳振立て聞食せと恐みも白す吐音加身惠身多女祓ひ賜へ清め賜へ

高天の原に神留坐す。神魯岐神魯美の命以て。皇御祖神伊邪那岐の命。筑紫の日向の橘の。小戸の阿波岐原に。御禊祓ひ給ふ。時に生

坐る祓戸の大神等。諸の枉事罪穢を祓ひ賜へ清め賜へと。申す事の由を天つ神國つ神八百萬の神等共に。天の斑馬の耳振立て聞食せど。恐みむ白す。吐音加身惠身多女。祓ひ賜へ清め賜へ

(四八) 九字傳授

抑九字は身を護の大神法にして輕忽のことにあらず其法毎朝手洗ひ口嗽ぎ北に向ひて濁氣を吐棄東方にむかひて口を開息を内に引き生氣を吮飲むと三たび次に齒を叩く

と三十六度氣を下し心を安靜にして是を修すべし或は旅にて山中曠野あるひは夜行又は闇室孤居などにも是を修すれば自身忽ち威力を増しよろくの怨敵惡魔狐狸の屬までも便をうかひひ障碍をなすと能す神妙

不測の大神法たれば疑ひの心を生ぜず至信に行べし但かく尊き法なれば其人平常仁慈忠孝の志なく非法濫行の族にては更に驗なく却て冥罰を蒙るべし心正直潔白にして天道を恐れ人道に背す已々が家業を大切

にして正眞に此法を修する人は必其利益

すへし或は放れて山中明野あるひは夜行  
また 闇室孤居なごにも是を修すれば自身忽  
ち威力を増しもろくの怨敵悪魔狐狸の屬  
までも便をうかひ障碍をなすと能ず神妙

不測の大秘法たれば疑ひの心を生ぜず至信  
に行べし但かく尊き法なれば其人平常仁慈  
忠孝の志なく非法濫行の族にては更に驗  
なく却て冥罰を蒙るべし心正直潔白にし  
て天道を恐れ人道に背ず己々が家業を大切

にして正眞に此法を修する人は必其利益  
著く劔難賊難水火の難一切の悪事災厄を  
免れ安穩に身を護るべし深秘の法なれども  
衆人の爲に弘く師傳の旨を傳るもの也猶切  
紙に委し鹿畧にすることなかれ

文化十二乙亥春 法印行智白

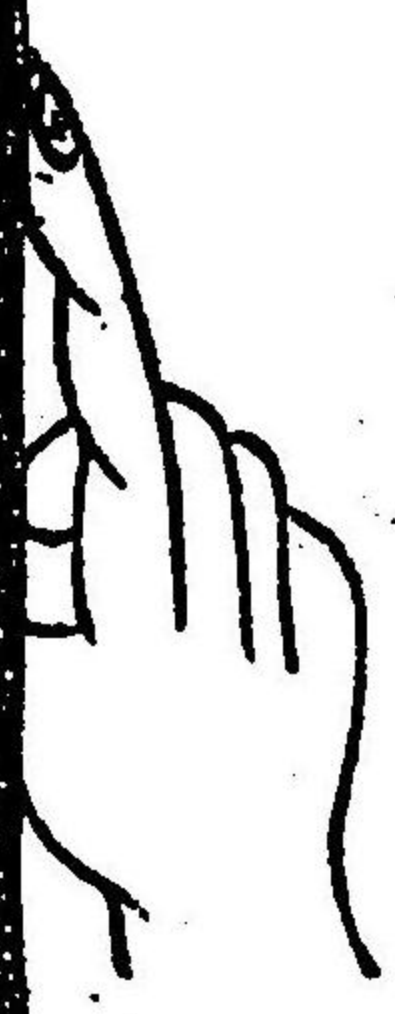
右依信心取次

大摩利支尊天秘授兵法九字之大事は身心堅  
固にし運力を増し。怨敵を退け。悪魔を拂ひ  
悪靈邪鬼狐狸妖怪を滅し。惣て一切の厄難  
を除き。諸の願望を成就圓滿なごしむるの  
神術なり。至心に傳授して久しく修する人  
は靈驗實にいちしるさ者也

佛心道人 勸行

切紙九字之大事

上品



獨古印

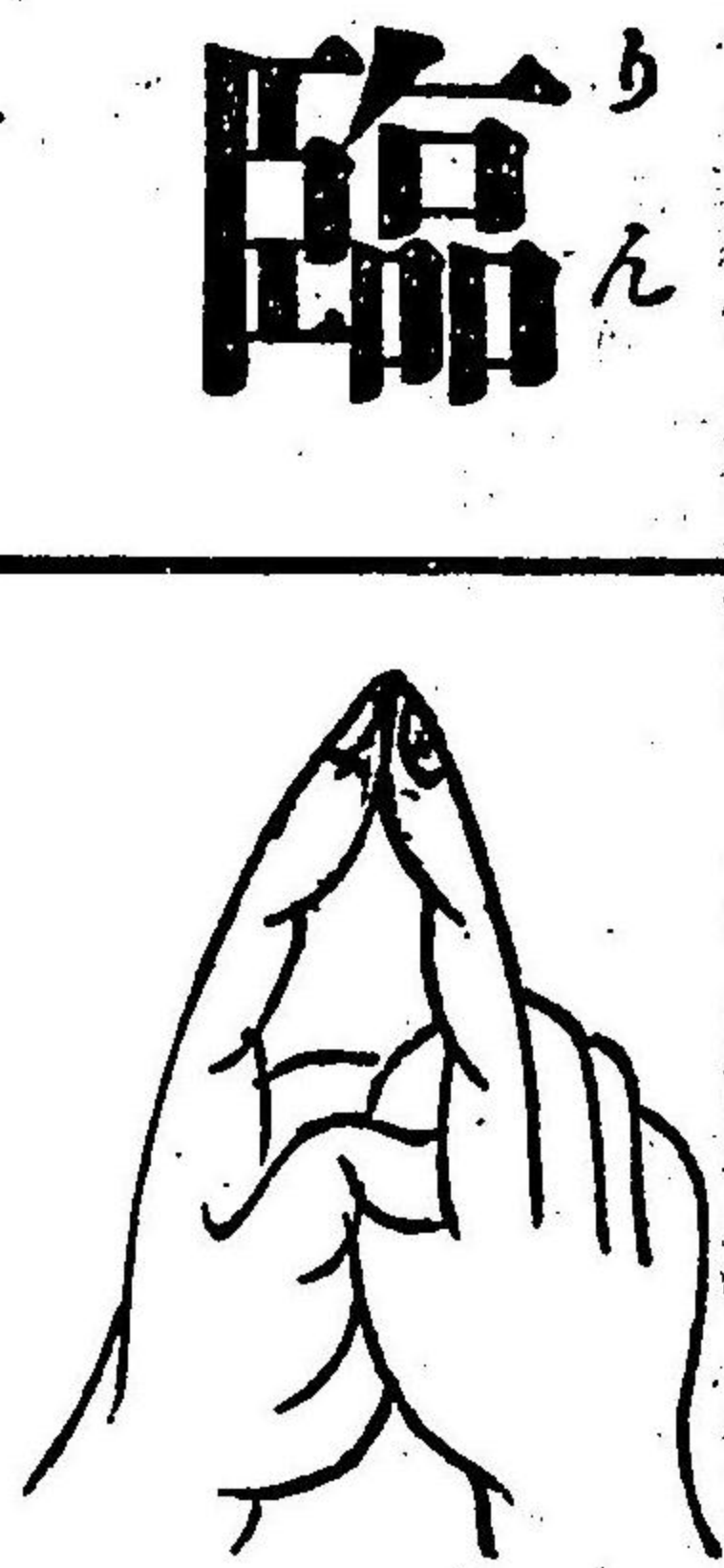
ごくこのいん

大摩利支尊天秘授兵法九字之大事は身心堅固にし運力を増し。怨敵を退け。悪魔を拂ひ悪霊邪鬼狐狸妖怪を滅し。惣て一切の厄難

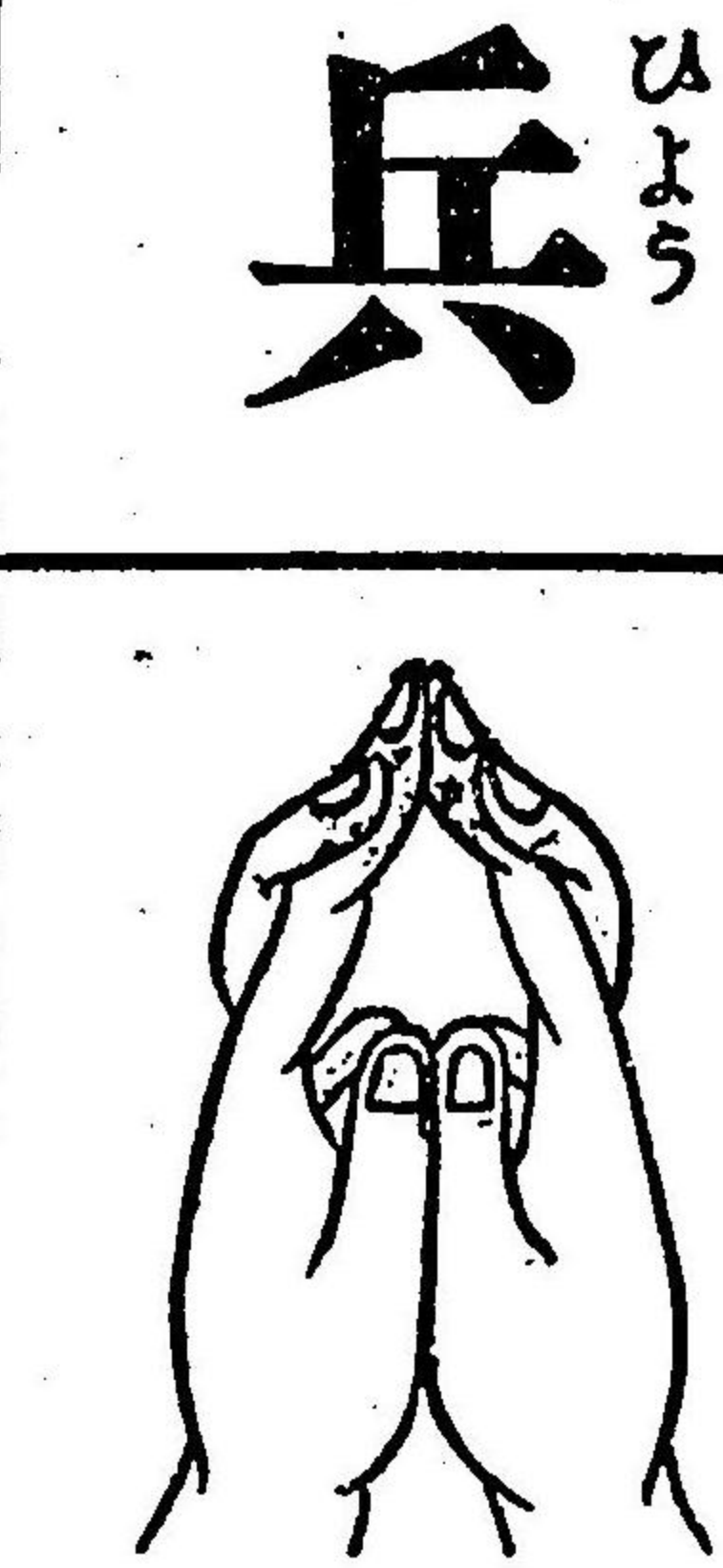
を除き。諸の願望を成就圓滿なごしむるの神術なり。至心に傳授して久しく修する人は靈驗實にいちじるき者也

佛心道人 勸行

切紙九字之大事



獨古印 ごとこのいん  
左右の手をうちへくみて頭指をたて、あはす



大金剛輪印 だいこんごういん  
二手うちにくみ頭指をたて付中ゆびにてかくむ



外師子印 げじこのいん  
左右たがひに中指にて頭指をからみ大指无名指小指をたてあはす



内師子印 ないじこのいん  
左右たがひに中指で无名指をからみ大指頭指小指をたてあはす



外縛印 げばくのいん  
二手おのく外へくみあはするなり

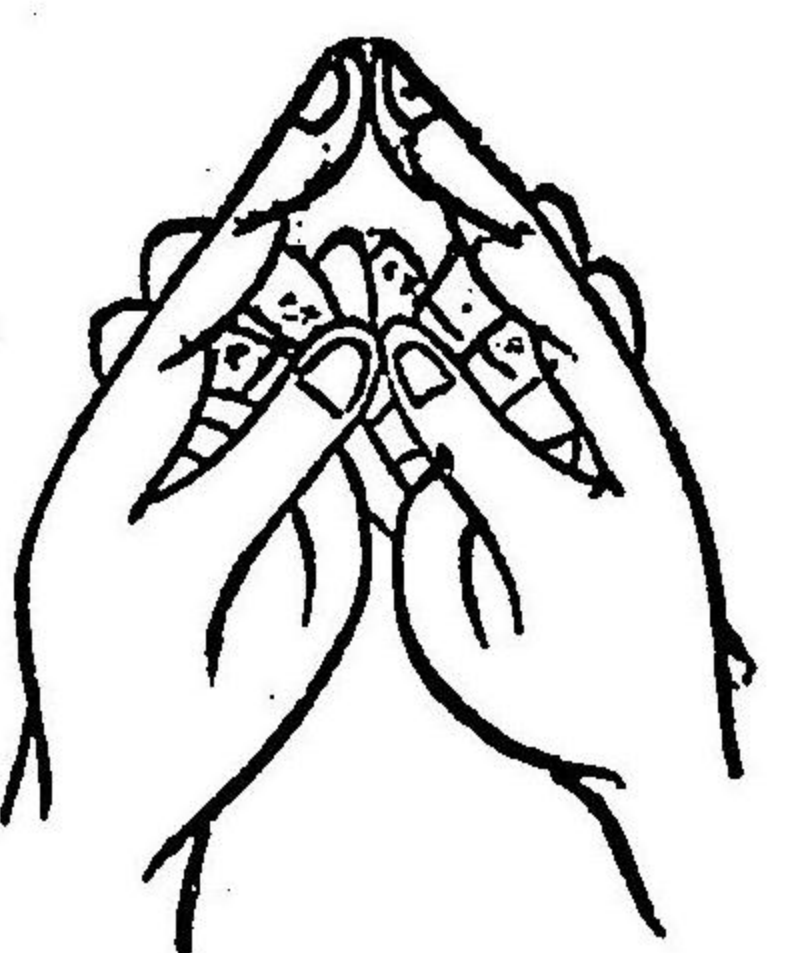


内縛印 ないばくのいん  
十の指たがひにうちへくみいるなり



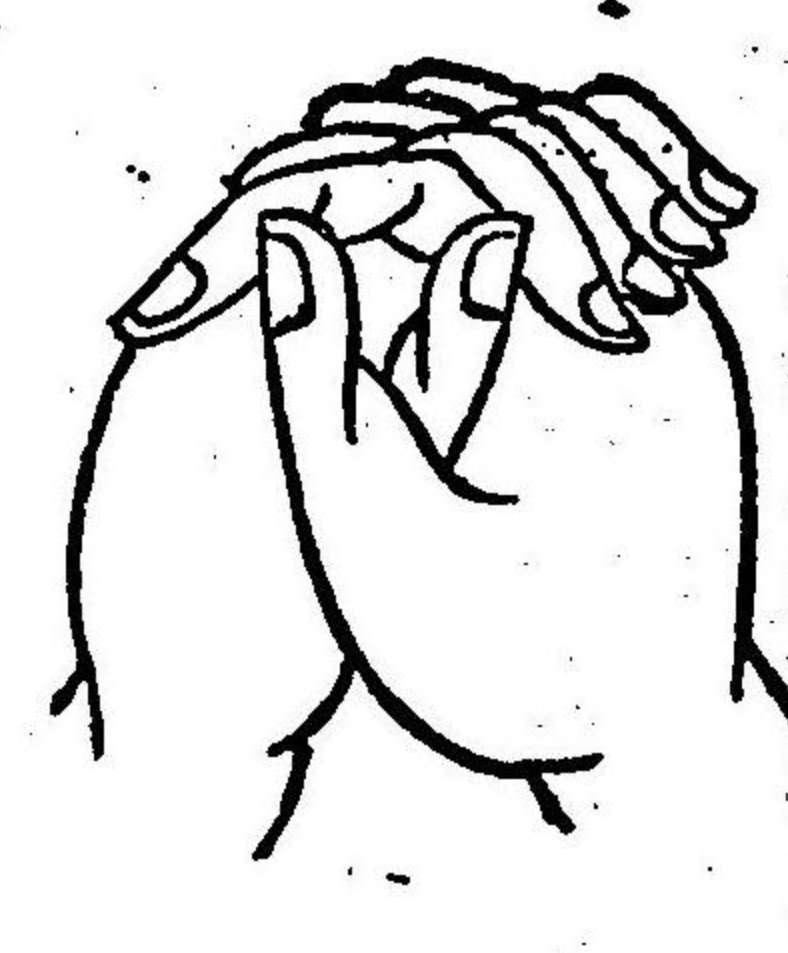
智拳印 ちけんのいん  
左四指をこぎりて頭指をたて

者しや



内師子印 ないじのいん  
左右たがひに中指で无名指をからみ大指頭指小指をたてあはす

皆かい



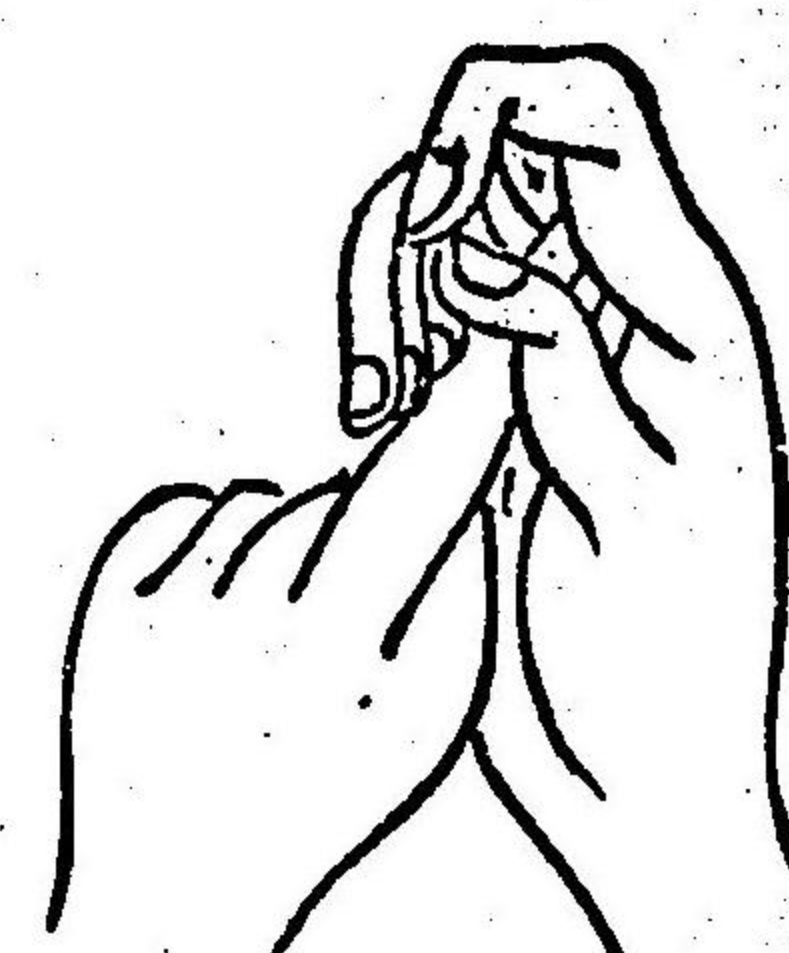
外縛印 げばくのいん  
二手おのく外へくみあはするなり

陳ちん



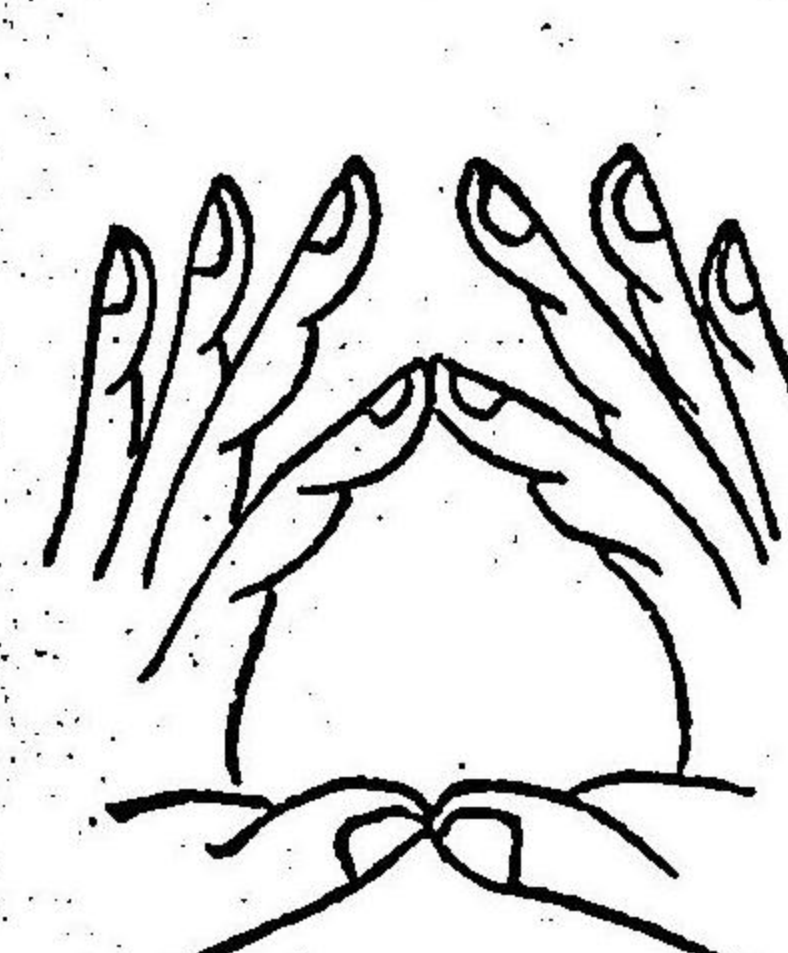
内縛印 ないばくのいん  
十の指たがひにうちへくみいるなり

列れつ



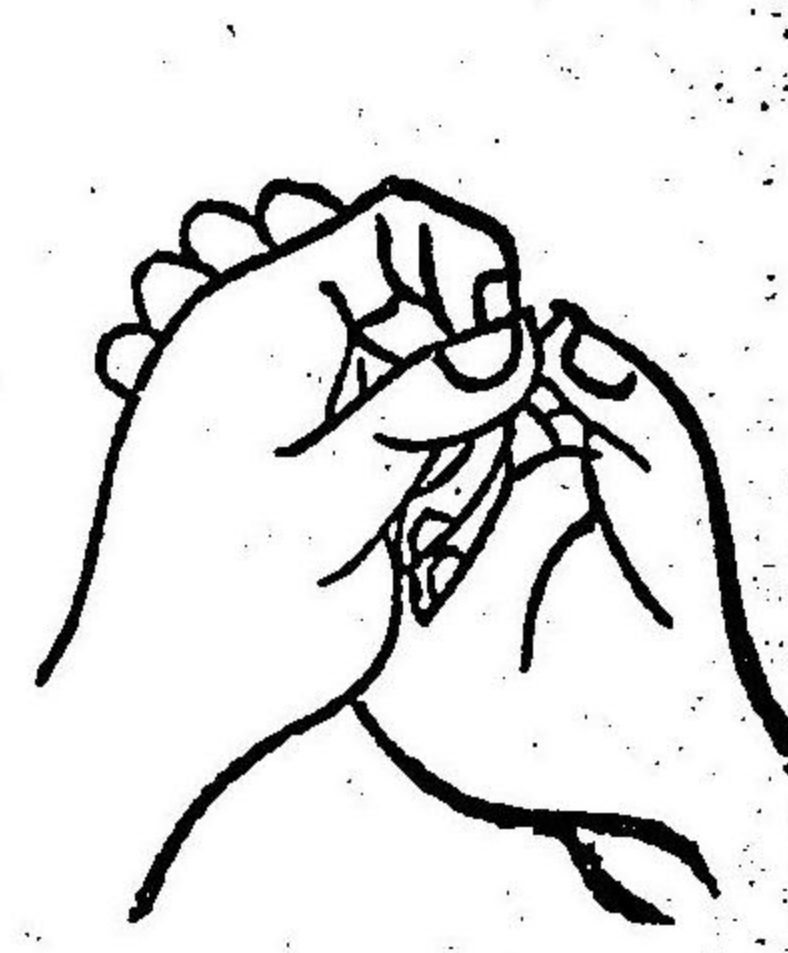
智拳印 ちけんのいん  
左四指をにぎりて頭指をたて右にて圖のごとく左の圖指をとる

在ざい



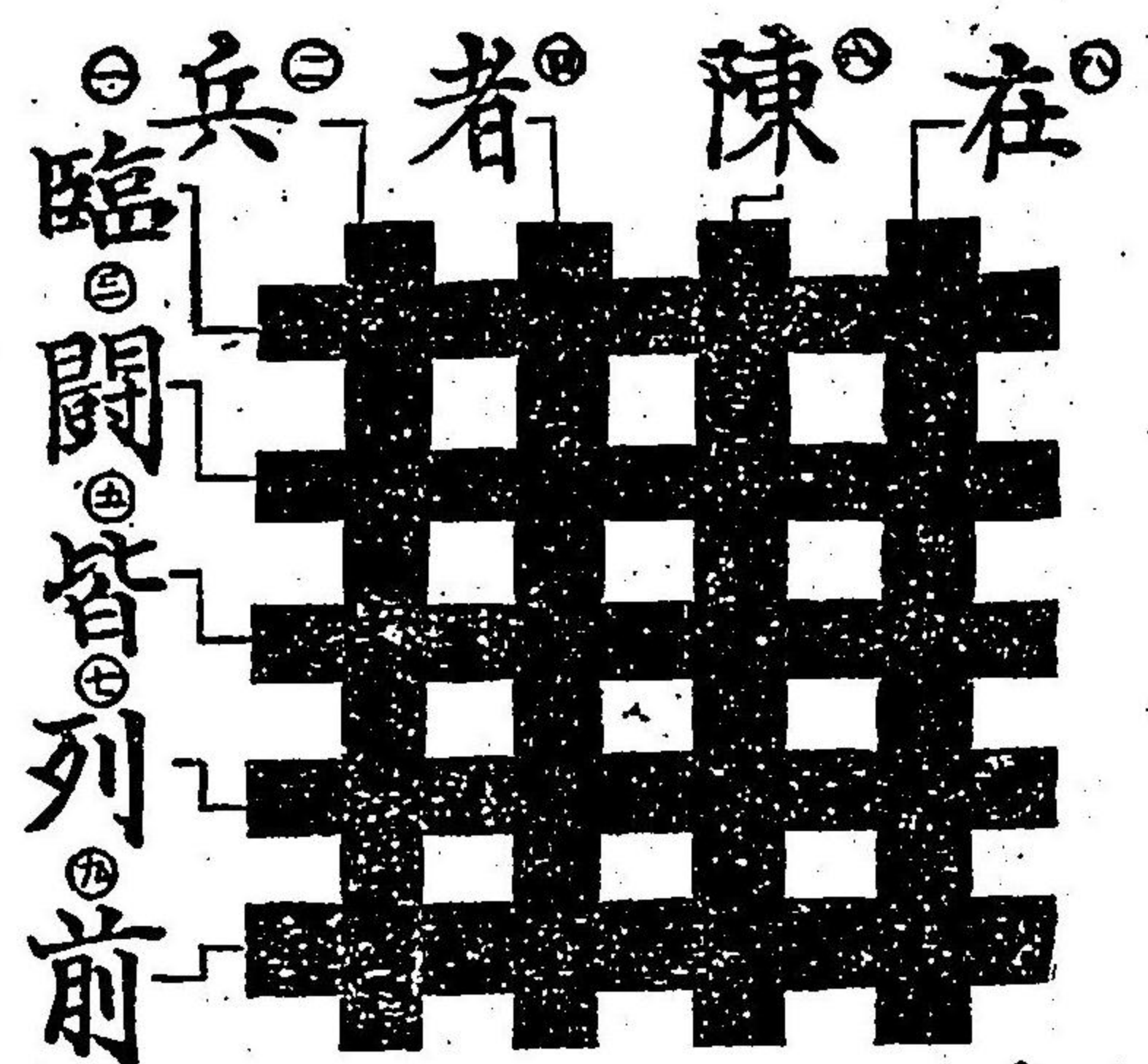
日輪印 にちりんのいん  
左右の大指頭指さきをつけ餘の四指はひらき散す

前ぜん



隠形印 おんぎやうのいん  
左の手をうつろににぎり右の手の上におく、口傳

次に刀印をむすび九字を唱へながら圖のごとく畫べし



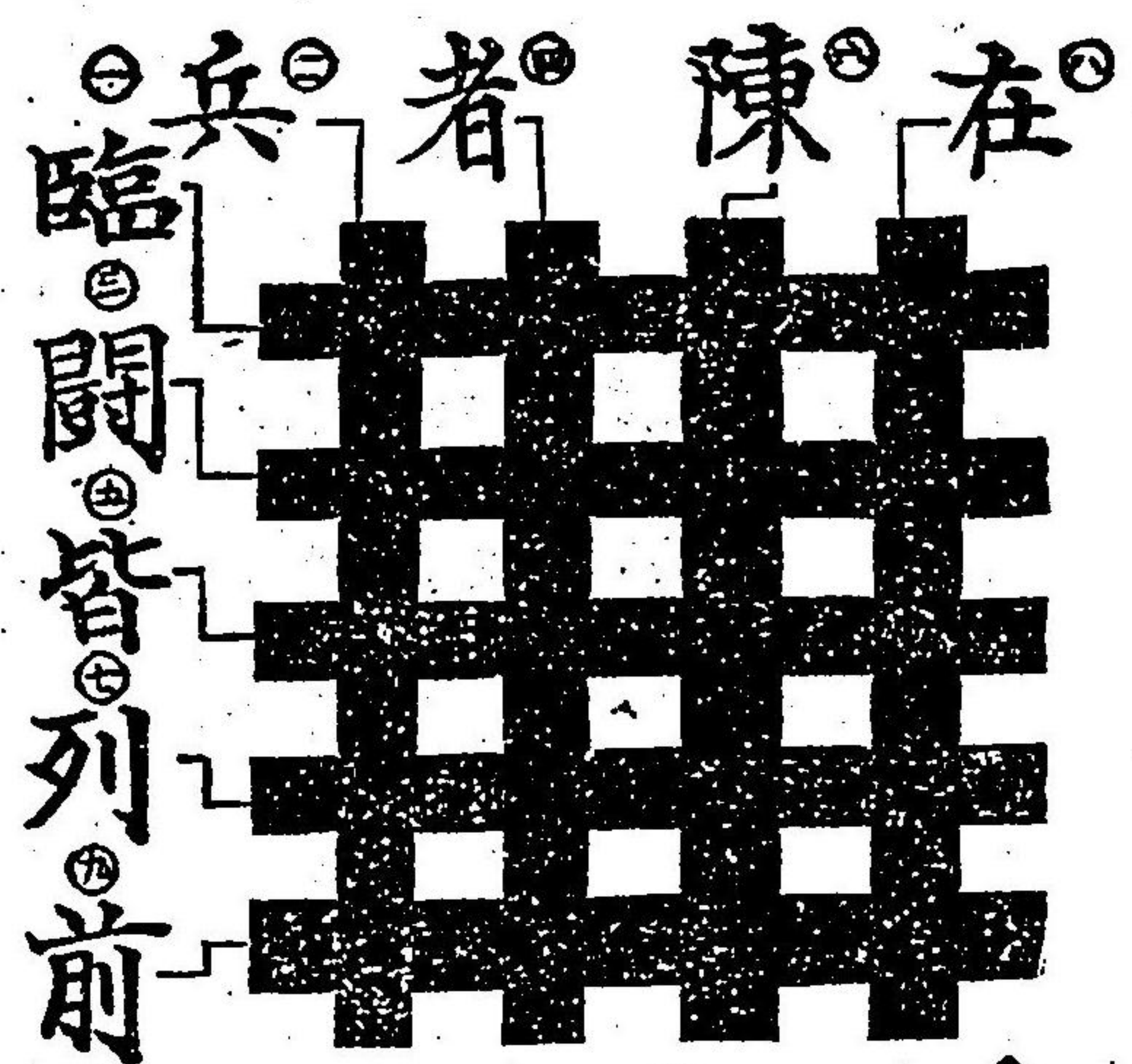
日天子眞言 につてんじしんごん

指

小指

中指

次に刀印をむすび九字を唱へながら圖の  
とどく畫べし



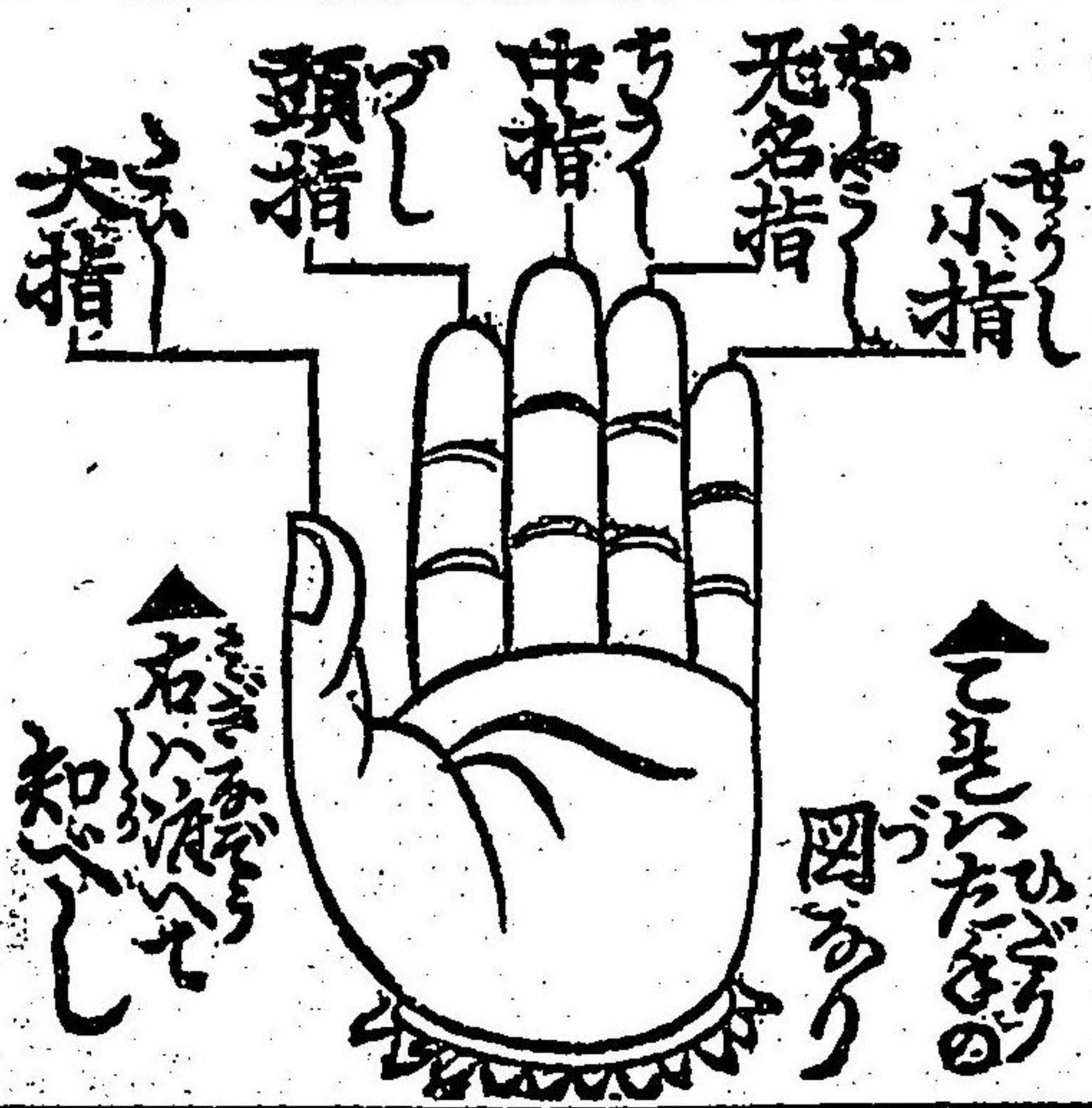
日天子眞言

んあぢちややえり

摩利支天眞言

んまりりやえり

指の之名



毎朝日天子拜見之大事

毎朝早起て手を洗ひ口を嗽ぎ東方日出

に向て修すべし

合掌唱文

南無歸命頂禮。大日天子。天照坐日大御

神。爲度衆生故。普照四天下

外縛印 手のゆびを外へ組あはすなり

七難即滅 三返

内縛印 十の指たがひにうちへくみいるなり

七福即生 三返

こんがうがつしやう

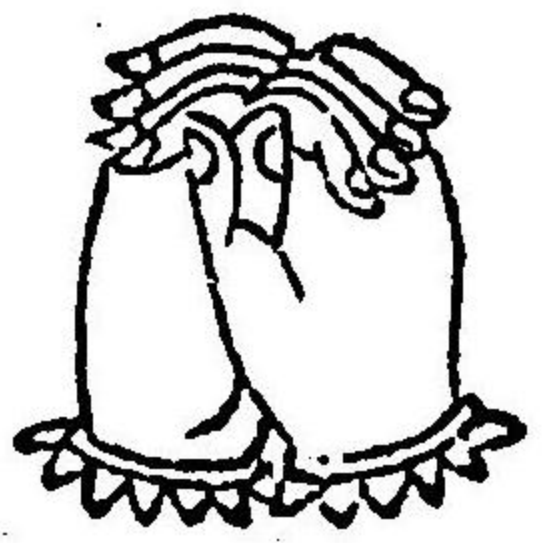
南無歸命頂禮。大日天子。天照。坐日大御

神。為度衆生故。普照四天下。右三返

○外縛印 手のゆびを外へ組あはすなり

七難即滅

あびびくろんけん



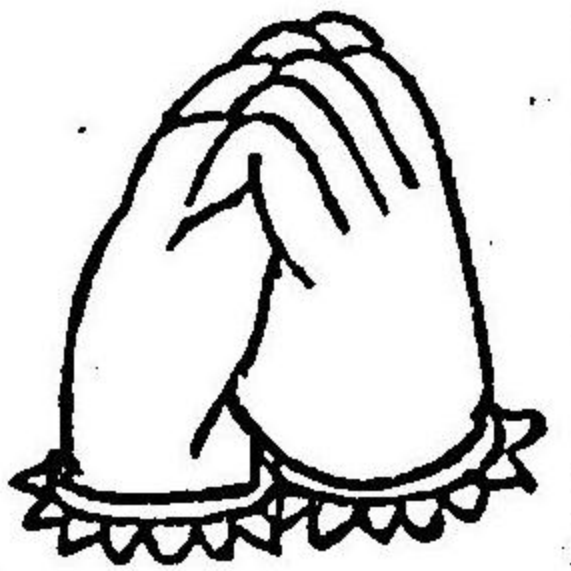
三返

○内縛印

十の指たがひにうちへくみいるなり

七福即生

あびびくろんけん



三返

○金剛合掌 ゆびさきをまじへて手をあはすなり

あんあぢちやまはりひんそつ

○九字 爰にて九字を修すべし九字の法別に出す

○合掌 護持某甲哀愍納受。畢而三禮

○護身法印明

淨三業三部被甲これを護身法といふ十八契印だいいちにして秘みつじんしんの印言なり此法をしゆせんとはつせば身器をしやう

じやうにし壇じやうを装しよくして隨ぶんに供具をうなへ五たいを地になげうちて本ぞんをらいしたてまつり誠しんにしゆぎやうすべし如はうにぎやうすれば身口意につくるところの罪しやうをせうぢよし三部し

よろんの加護をかふむり身をしてけん固ならしめもろくの魔しやうをぢうぶくし水くわ盜へいさいのやくなんのおるれなか



り此法をしゆせんとはつせば身器をしやう

じやうにし壇じやうを装しよくして隨ぶんに供具をうなへ五たいを地になげうちて本ぞんをらいしたてまつり誠しんにしゆぎやうすべし如はうにぎやうすれば身口意につくるところの罪しやうをせうちよし三部し

よろんの加護をかふむり身をしてけん固ならしめもろくの魔しやうをぢうぶくし水くわ盗へいさいのやくなんのおるれなからしむまことに難さう遇未曾有のみつほうなればつしんでおこなひ奉るべし此はう

はみつ家に秘ちやうするところなれども二三はいの信士のこんじやうするにまかせてあづさに壽するものなり

淨三業印明

身口意に作る所の諸の罪業をめつして清淨なるを得せしむる印明なり

唵薩嚩婆嚩輸駄薩嚩達  
磨薩嚩婆嚩輸度哈

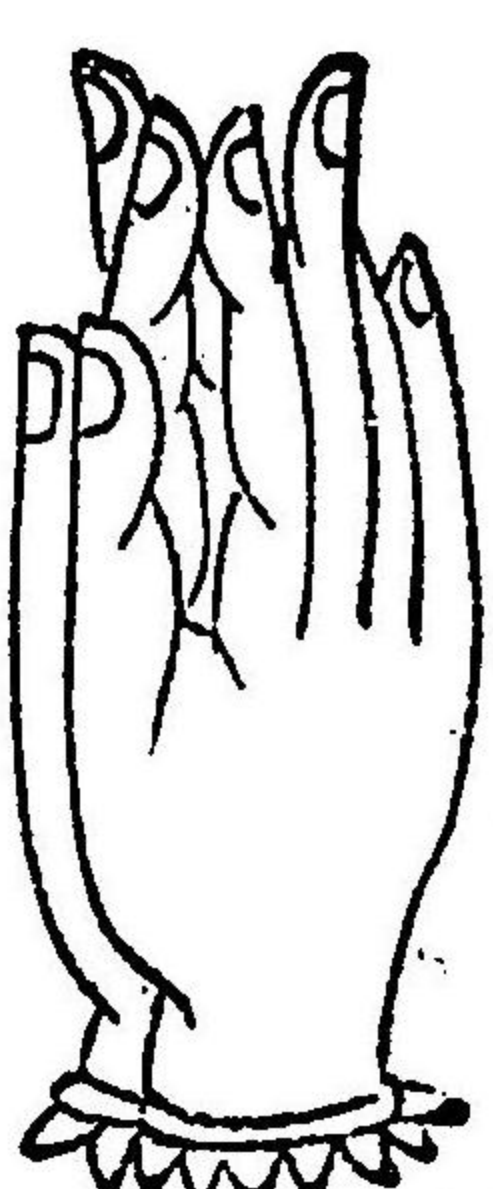
佛部三昧耶

十方三世諸佛の護念を得て其命をまし福惠を長ず

庵陀他葉都納婆縛也

左右の手を打合て掌中をうつろにすへこれを虚心合掌といふ。

口傳



前の印にて。掌をひらき。風指の端を二中指の上節につけ。二大指屈して頭指の下節に安ず



淨三業印明

身口意に作る所の諸の罪業をめつして清淨なるとを得せしむる印明なり

唵薩嚩婆嚩輸駄薩嚩達  
磨薩嚩婆嚩輸度哈

佛部三昧耶

十方三世諸佛の護念を得て其命をまじ福惠を長ず

唵怛他藥都納婆嚩也  
娑嚩訶

蓮華部三昧耶

觀世音菩薩等の諸のほさつの加持を得て一切の業障を消除するなり

唵跛娜謨納婆嚩也  
娑嚩訶

金剛部三昧耶

金剛部の諸尊の加被をかふむり一さいの病なんをのぞき堅固の體となる

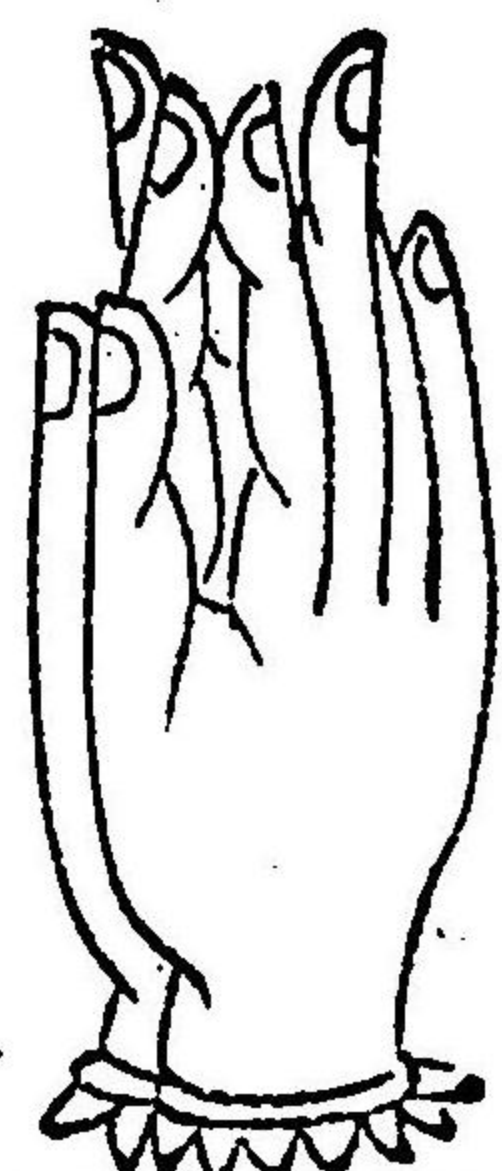
唵嚩日盧納婆嚩也  
娑嚩訶

護身三昧耶

諸の天魔の障碍をのぞき一切の厄難をよけ身をして堅固ならしむ

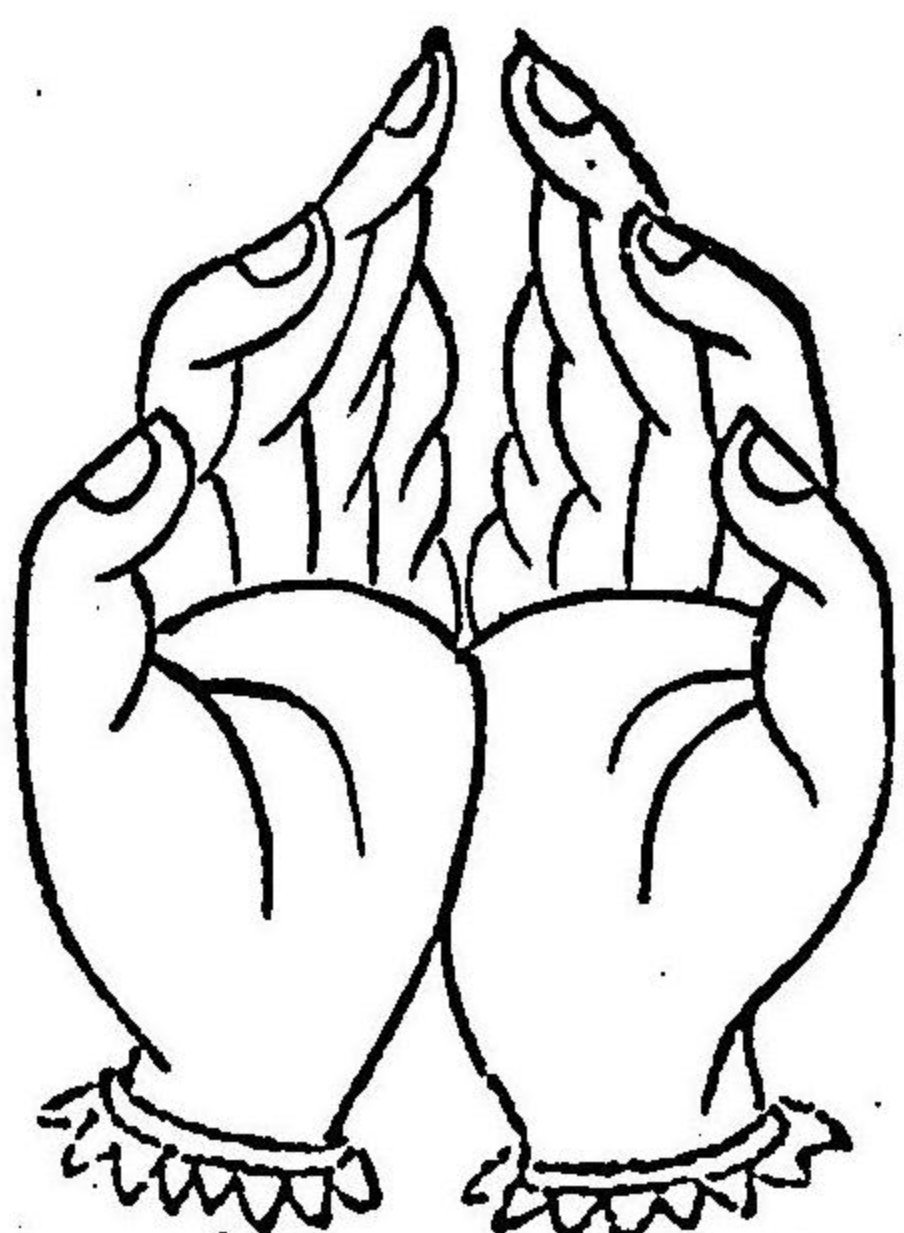
唵嚩日羅銀你鉢羅捺跋

左右の手を打合て掌中をうつろにすへこれを虚心合掌といふ。

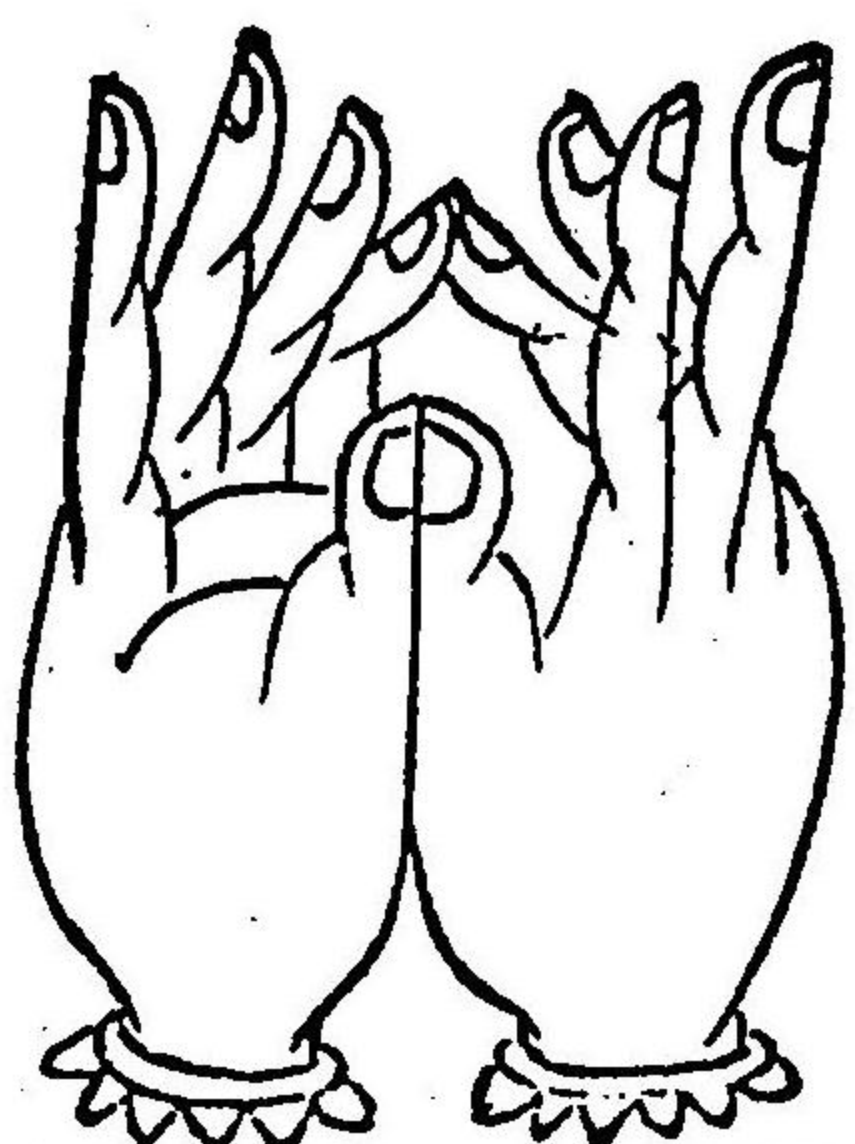


口傳

前の印にて。掌をひらき。風指の端を二中指の上節につけ。二大指屈して頭指の下節に安ず



左右五指をひらきちらして。大指小指を相つけて。八葉蓮華の形ちのごとくす



左掌をかへしふせて外へむけ。右をあふぎて手の背をつけ。大指小指たがひに。はしを引かけて。鈎のごとくす



二手内にまじへて。二中指はしを合て。二頭指を少し曲げ。二大指にて無名指のものとをれす。口傳



金剛部三昧耶

金剛部の諸尊の加被をかふむり一さいの病なんをのぞき堅固の體となる

唵嚩日盧納婆嚩也。娑嚩訶

訶

護身三昧耶

諸の天魔の障碍をのぞき一切の厄難をよけ身をして堅固ならしむ

唵嚩日羅銀你鉢羅捺跋

跢也。娑嚩訶

左掌をかへしふせ

て外へむけ。右を

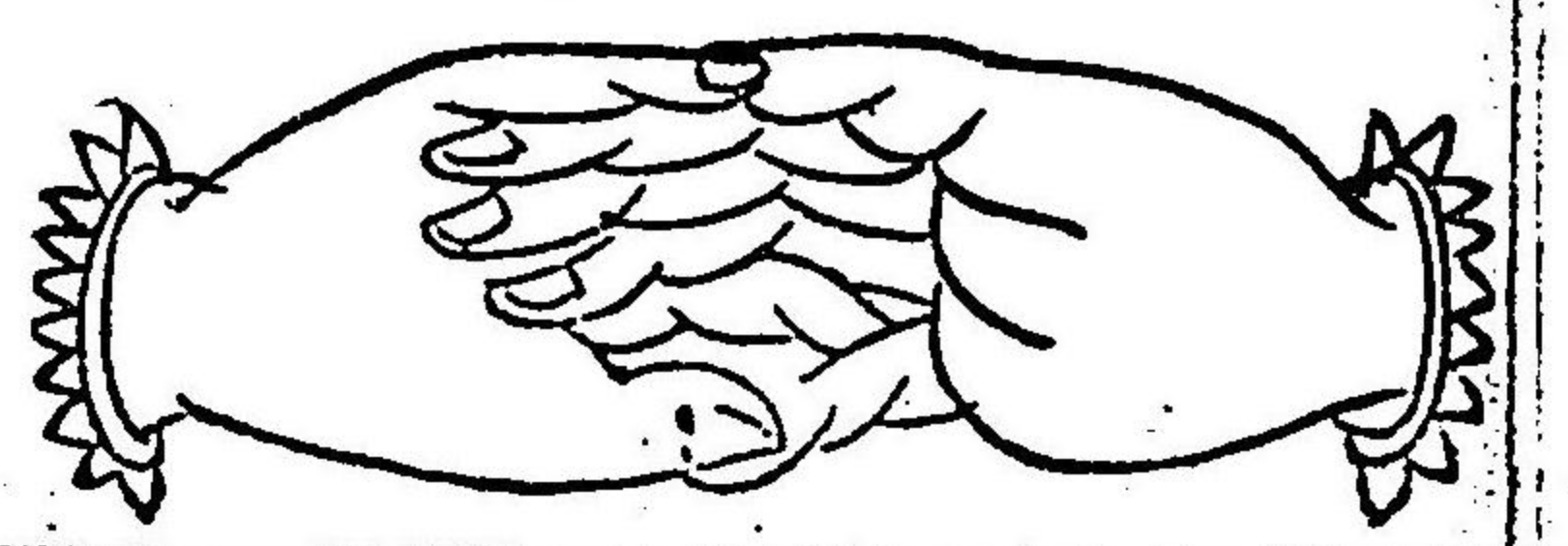
あふぎて手の背を

つけ。大指小指た

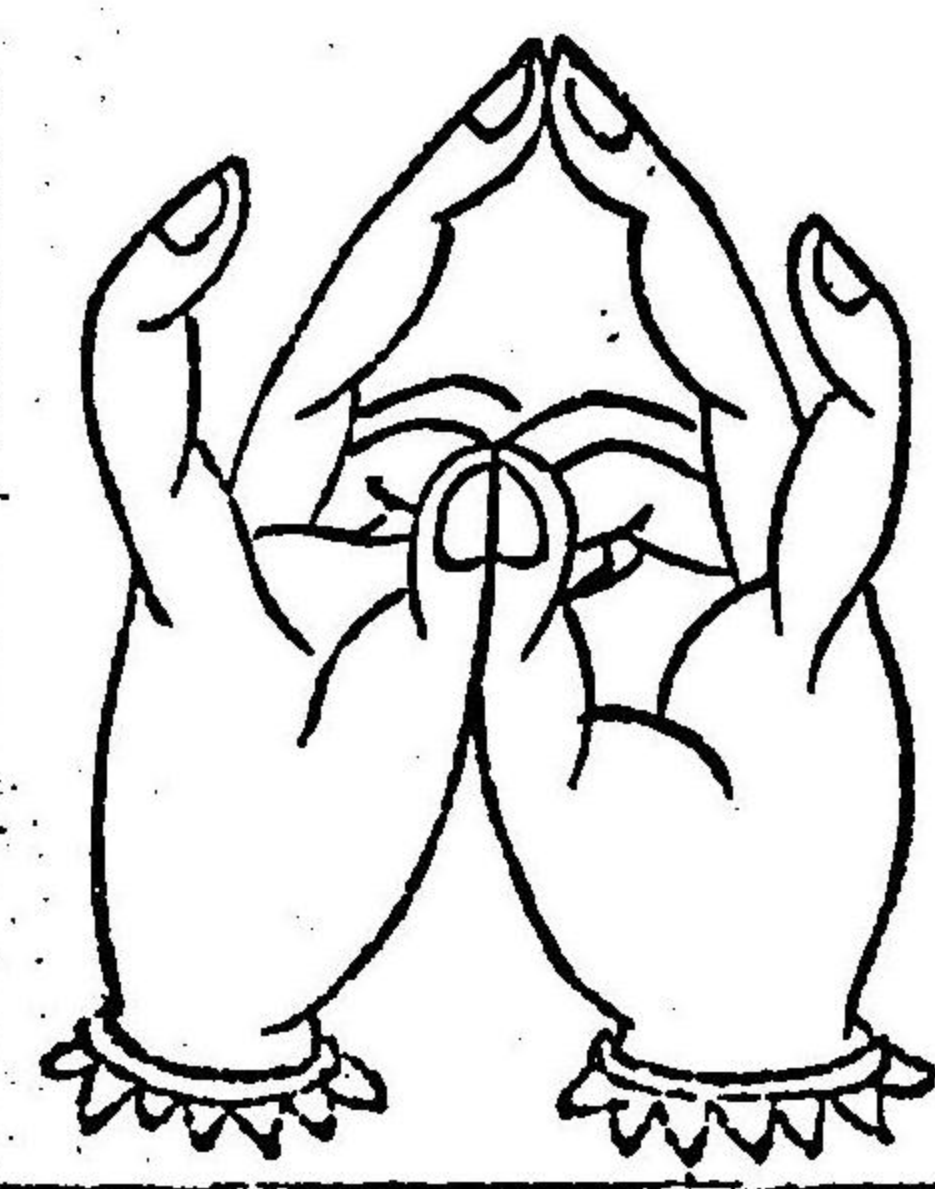
がひに。はしを引

かけて。鈎のごと

くす



二手内にまじへて。二中指はしを合て。二頭指を少し曲げ。二大指にて無名指のものとをれす。口傳



右護身法印明は。これをちゆうす對譯は儀

軌にのするところにしたがひ梵音は家の聖

にまかせてこれをしるすしかれども猶口じ

ゆによらざれば越法の罪ろのおるれありこ

れを修せんとおるは傳みつの先だつにつ

さて更に問ふべし 于時文政改元五月五日

行智法印の口授を受けて 門人佛心道人

(四九) 神言

高天の原に神留坐す。皇か親神漏岐神漏

美の命を以て。八百萬の神等を。神集へ集へ

賜ひ神議り議り賜ひて。我皇御孫の命は。豊

葦原の水穂の國を。安國と平けく所知食せ

と。事依し奉りき。如此依し奉りし國中に荒

ぶる神等をば。神問した問し賜ひ。神言ひて

きて更に問ふべし。于時文政改元五月五日  
行智法印の口授を受けて 門人佛心道人

(四九) 神言

高天の原に神留坐す。皇か親神漏岐神漏  
美の命を以て。八百萬の神等を。神集へ集へ

賜ひ神議り議り賜ひて。我皇御孫の命は。豊  
葦原の水穂の國を。安國と平けく所知食せ  
と。事依し奉りま。如此依し奉りし國中に荒  
ぶる神等をば。神問しに問し賜ひ。神掃ひに  
掃ひ賜ひて語問し磐根樹立草の垣葉をも語

止て。天の磐座放ち。天の八重雲を伊頭の千  
別に千別て。天降し依し奉りま如此依し奉  
りし。四方の國中と。大倭日高見の國を。安國  
と定奉て。下つ磐根に宮柱太敷立高天の原  
に千木高知て。皇御孫の命の美頭の御舎仕

奉りて。天の御蔭日の御蔭と隠坐て。安國と  
平けく所知食む國中に。成出む天の益人等  
が。過犯しけむ雑々の罪事は。天つ罪と。畔  
放ち溝埋。樋放ち。頻蒔。串刺。生剝。逆剝。屎戸  
許々太久の罪を天つ罪と法別て國つ罪と

は。生膚斷死膚斷。白人胡久美。已が母犯せる  
罪。已が子犯せる罪。母と子と犯せる罪。子と  
母と犯せる罪。畜犯せる罪。昆虫の災ひ。高つ  
神の災ひ。高つ鳥の災ひ。畜仆し。蠱物爲る罪  
午々太人の罪出。口七出。六の言事以

奉りて。天の御蔭日の御蔭と隠坐て。安國と  
平けく所知食む國中に。成出む天の益人等  
が。過犯しけむ雑々の罪事は。天つ罪と。畔  
放ち溝埋樋放ち。頻時。串刺。生剝。逆剝。尿戸  
許々太久の罪を天つ罪と法別て國つ罪と

は。生膚斷死膚斷。白人胡久美。已が母犯せる  
罪。已が子犯せる罪。母と子と犯せる罪。子と  
母と犯せる罪。畜犯せる罪。昆虫の災ひ。高つ  
神の災ひ。高つ鳥の災ひ。畜仆し。蠱物爲る罪  
許々太久の罪出む。如此出は。天つ宮事以て

天つ金木を本打切末打斷て。千座の置座に  
置足はして天つ菅曾を本茹斷末茹切て八針  
に取辟て。天つ祝詞の太祝詞事を宣れ如此  
乃良ば。天つ神は天の磐門を推披きて天の  
八重雲を。伊頭の千別に千別て所聞食む。國

つ神は。高山の末。短山の末に。上坐て高山の  
伊穗理。短山の伊穗理を搔別て所聞食む。如  
此所聞食ては。罪と云ふ罪は在らじと。科戸  
の風の。天の八重雲を。吹放つ事の如く朝の  
御霧夕の御霧を。朝風夕風の。吹掃ふ事の如

く大津邊に居る大船を。舳解放ち艦解放ち  
て。大海の原に押放つ事の如く。彼方の繁木  
が本を。燒鎌の敏鎌以て打掃ふ事の如く。遺  
る罪は在らじと。祓ひ給ひ清め給ふ事を。高

つ神は高山の末。短山の末に。上坐て高山の  
伊穗理。短山の伊穗理を搔別て所聞食む。如  
此所聞食ては。罪と云ふ罪は在らじと。科戸  
の風の。天の八重雲を。吹放つ事の如く朝の  
御霧夕の御霧を。朝風夕風の。吹掃ふ事の如

く大津邊に居る大船を。舳解放ち艦解放ち  
て。大海の原に押放つ事の如く。彼方の繁木  
が本を。焼鎌の敏鎌以て打掃ふ事の如く。遺  
る罪は在らじと。祓ひ給ひ清め給ふ事を。高  
山の末短山の末より。佐久那太理に。落多支

都速川の瀬に坐す。瀬織津比咩と云ふ神大  
海の原に持出なむ。如此持出往は。荒鹽の鹽  
の八百道の。八鹽道の。鹽の八百會に座す速  
開都比咩と云ふ神持可可吞てむ。如此可可  
吞ては。氣吹戸に坐す。氣吹戸主と云ふ神。根

の國底の國に。氣吹放ちてむ。如此氣吹放ち  
ては。根の國底の國に坐す。速佐須良比咩と  
云ふ神。持佐須良比失ひてむ。如此失ひては  
現身の身にも心にも罪と云ふ罪は在らじ  
と祓ひ給へ。清め給へと白す。

(五〇) 家内の規程

- 一 主人は一家族を取締り業務に精勵する事
- 二 家内和合して堅く禮義行狀を守るべき事
- 三 全家の和合を以て富貴の基と爲すべき事
- 四 妻は家庭の教育一般の品行に注意する事
- 五 過度の暴食飲酒夏時の食物に注意する事

の國底の國に。氣吹放ちてむ。如此氣吹放ちては。根の國底の國に坐す。速佐須良比咩と云ふ神。持佐須良比失ひてむ。如此失ひては現身の身にも心にも罪と云ふ罪は在らじと祓ひ給へ。清め給へと白す。

(五〇) 家内の規程

- 一 主人は一家族を取締り業務に精勵する事
- 二 家内和合して堅く禮義行狀を守るべき事
- 三 全家の和合を以て富貴の基と爲すべき事
- 四 妻は家庭の教育一般の品行に注意する事
- 五 過度の暴食飲酒夏時の食物に注意する事
- 六 商業上顧客の取扱は丁寧親切なるべき事

- 七 營業の信用に關する體裁行爲を慎しむ事
- 八 家業は勉強と忍耐とを以て正直に行ふ事
- 九 生活費を儉約して博愛事業に盡すべき事
- 十 投機業は子孫に至るまで堅く嚴禁する事
- 十一 金錢上の出納は毎日明細に記帳すべき事
- 十二 夙夜の起臥及び就業の時間を一定する事
- 十三 土藏其の他戸締り等は毎夜注意すべき事
- 十四 火の元爐中及ひ其他一切を用心すべき事

- 十五 禍福は皆我が行ひより來るを知るべき事
  - 十六 主家に忠實同僚相親み和合を計るべき事
  - 十七 天然の樂みを樂み自ら樂みを求めざる事
  - 十八 艱難より來る樂みに非ざれば甘受せざる事
  - 十九 後悔あるときは之に代ふるの善事を行ふべき事
  - 二十 分限に應じ多少の額を定めて毎日貯金を怠らざる事
  - 廿一 人の惡しきは我が惡きに由ると思ひ人を欺く可らざる事
- 以上二十一條は之を大書し家内の高くして見易き所に掲げ常に之

を見て念々忘れず能く之を守りて勉め行ふときは一家繁昌子孫長久の基たること疑ふべからず

- 十五 禍福は皆我が行ひより来るを知るべき事
  - 十六 主家に忠實同僚相親み和合を計るべき事
  - 十七 天然の樂みを樂み自ら樂みを求めざる事
  - 十八 艱難より来る樂みに非ざれば甘受せざる事
  - 十九 後悔あるときは之に代ふるの善事を行ふべき事
  - 二十 分限に應じ多少の額を定めて毎日貯金を怠らざる事
  - 廿一 人の悪しきは我が悪きに由ると思ひ人を欺く可らざる事
- 以上二十一條は之を大書し家内の高くして見易き所に掲げ常に之

を見て念々忘れず能く之を守りて勉め行ふときは一家繁昌子孫長  
 久の基たること疑ふべからず

### ○稻荷五社大神の御眞影

長サ五尺餘 横一尺餘  
 掛物製  
 正價金一圓廿錢郵税八錢

稻荷の大神は人々に壽命と福徳を授くる神にして本社を西京伏見稻荷山に御鎮坐在せ  
 られ祭神は○蒼魂命○大己貴命○太田命○大宮姫命○保食命の五柱大神を五社稻荷大  
 明神と申し奉り幸福の神にして我が國神代より此大神を主福神と祭り全國到る處稻荷  
 の名稱を以て祀る大小社は悉く此五柱を祀るものなり然るに此五柱の神跡は如何なる  
 御眞影なるかを知る人世に少なし本會は之を世に知らしめんが爲めに大に苦心し古來  
 神道の各書に付取調べ之を壽伯小林先生の筆によりて公にしたるものなれば是れ實に  
 我が朝神代以來の創見にて常に稻荷大神を信仰する人は必ず之を求め神前に掛けて祈  
 念せらるべし神徳の靈驗に依て家運の益々隆盛に進むは勿論のこと家内安全永久無難  
 を守護すること疑ひなしとす

### ○易學通信教授

易は人智の及ばざる所を神明に伺ひて  
 其吉凶を前知するの神術なれば必ず教  
 授を受けて神勅を得べし本館は易學一切  
 に關する諸件を通信教授を以て親切可  
 寧に教授す教授の法は易經の講義及び  
 人事應用活斷の仕方等に至る迄二様三  
 様に區別して教授す○但し教授方法は  
 規則あれば葉書にて一應照會せらるべ  
 し規則書を送る

### 進呈

神誠館發賣書目 非賣品

本館に於て大古神代の昔より神佛兩道の  
 祈禱禁厭神勅神集降臨法術秘法等各行者  
 の行ふ數百の秘傳一切に關するものと我  
 朝易學陰陽道諸書は一切及神書と合せ五  
 百餘種賣捌き居り候一冊子と爲し調製し  
 あれば望みの人は何時にても郵便端書に  
 て御照會あれば直ちに送付進呈可仕候

明治四十四年 一月十日印刷  
 明治四十四年 一月十五日發行

▲▲定價金三拾五錢▲▲  
 ▲▲郵税四錢▲▲

發行所 東京市本郷區湯島四丁目五番地  
 印刷者 柄澤照覺  
 東京市本郷區湯島四丁目五番地

印刷所 深山一郎  
 東京市神田區雄子町三十四番地

發行所 東京市本郷區湯島四丁目五番地

神誠館

司

御嶽教神誠教會

電話下谷三千六百〇九番



明神と申し奉り幸福の神にして我が國神代より此大神を主福神と祭り全國到る處稻荷の名稱を以て祀る大小社は悉く此五柱を祀るものなり然るに此五柱の神躰は如何なる御眞影なるかを知る人世に少なし本會は之を世に知らしめんが爲めに大に苦心し古來神道の各書に付取調べ之を書伯小林先生の筆によりて公にしたるものなれば是れ實に我が朝神代以來の創見にて常に稻荷大神を信仰する人は必ず之を求め神前に掛けて祈念せらるべし神徳の靈驗に依て家運の益々隆盛に進むは勿論のこと家内安全永久無難を守護すること疑ひなしとす

### ○易學通信教授

易は人智の及ばざる所を神明に伺ひて其吉凶を前知するの神術なれば必ず教授を受けて神勅を得べし本館は易學一切に關する諸件を通信教授を以て親切丁寧に教授す教授の法は易經の講義及び人事應用活斷の仕方等に至る迄二機三様に區別して教授す○但し教授方法は規則あれば葉書にて一應照會せらるべし規則書を送る

### 進呈

神誠館發賣書目

非賣品

本館に於て大古神代の昔より神佛兩道の祈禱禁厭神勅神集降臨法術秘法等各行者の行ふ數百の秘傳一切に關するものと我朝易學陰陽道諸書は一切及神書と合せ五百餘種賣捌き居り候一冊子と爲し調製しあれば望みの人は何時にても郵便端書にて御照會あれば直ちに送付進呈可仕候

明治四十四年一月十日印刷  
明治四十四年一月十五日發行

定價金三拾五錢  
郵税四錢



發行所 東京市本郷區湯島四丁目五番地

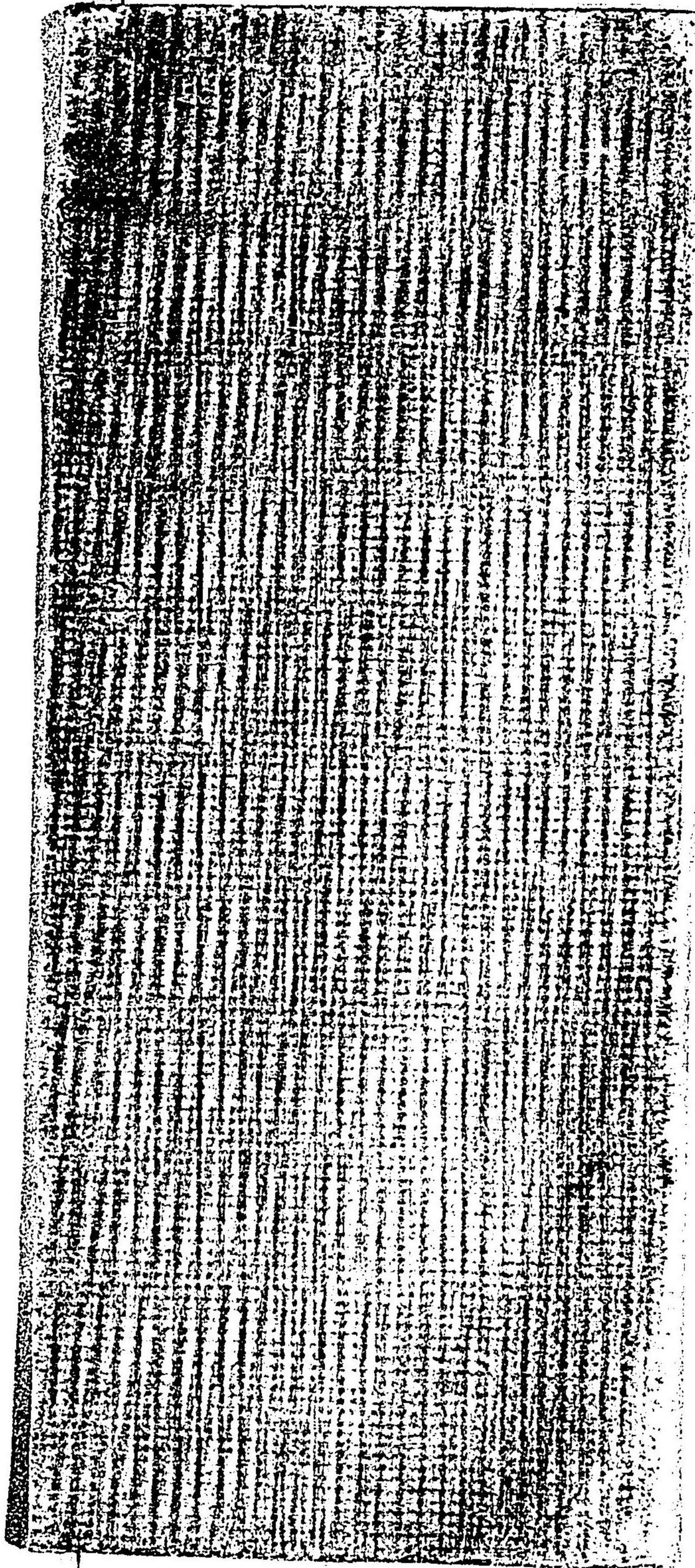
印刷者 柄澤照覺 東京市神田區繩子町三十四番地

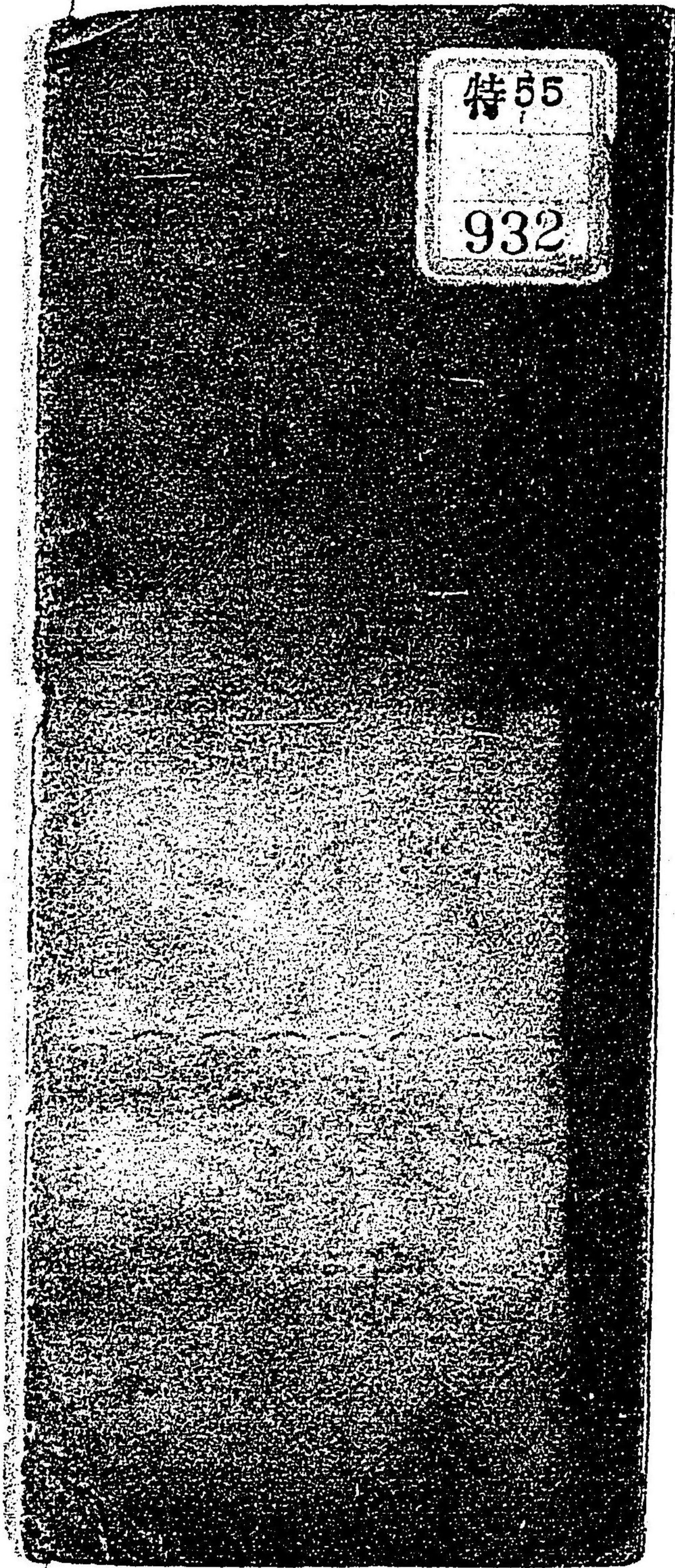
印刷所 成章堂 東京市神田區繩子町三十四番地

發行所 東京市本郷區湯島四丁目五番地

御嶽教神誠教會

256  
229





014230-000-3

特55-932

神道太祓大全(神拝祝詞)

柄沢 照覚/校

M44

ABB-0558

